

# 70<sup>th</sup> ANNIVERSARY MAGAZINE

1953-2022

 JCI Junior Chamber International Fukuoka



一般社団法人 福岡青年会議所

## The Creed of Junior Chamber International

We Believe :  
我々はかく信じる

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;  
真理は人生に意義と目的を与え

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;  
人類の同胞愛は国家による統治を超越し

That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;  
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ

That government should be of laws rather than of men ;  
政府には人治ではなく法治が必要であり

That earth's great treasure lies in human personality ;  
人間の個性はこの世の至宝であり

and That service to humanity is the best work of life  
人類への奉仕が人生最大の使命である

## JCI Mission

To provide development opportunities that empower  
young people to create positive change

青年会議所は青年が社会により良い変化をもたらすための成長と発展の機会を提供する

## JCI Vision

To be the leading global network of young active citizens  
青年会議所が行動を起こす青年の国際的ネットワークを牽引する

## JC 宣言

日本の青年会議所は  
希望をもたらす変革の起点として  
輝く個性が調和する未来を描き  
社会の課題を解決することで  
持続可能な地域を創ることを誓う

## 綱領

われわれJAYCEEは  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者 相集い 力を合わせ  
青年としての英知と勇気と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう



## 2023年度 スローガン KEEP GOING

福岡青年会議所が  
70年間歩んできた歴史を無駄にする事なく、  
80周年100周年に向けて  
時代の変化に柔軟に対応し、  
どんな状況下であっても  
「立ち止まらず、進み続ける。」想いを込め  
「KEEP GOING」を  
スローガンと設置いたしました。

時代の変化が目まぐるしく変わる今だからこそ、  
まちを想い、仲間を想い、  
そして未来を担う子どもたちのために  
実践型のJCI福岡として行動していきます。

## Contents

2	スローガン・目次	49	新旧実行委員長 特別対談 “全国大会に向けて” ～新旧実行委員長・特別対談～
3	理事長挨拶	53	掘り出せ！ JCI福岡の名場面 ～過去10年のOB及び現役メンバーのアンケートより～
5	祝辞	57	組織図
11	歴代理事長紹介〈第1代-第60代〉	62	編集後記
24	歴代理事長紹介〈第61代-第70代〉 10年のあゆみ Since 2013-2022		
45	シニアメンバーインタビュー ～過去10年の同年会長に聞いた、現役メンバーに聞かせたいあの先輩の話～		

## 70周年記念誌 理事長挨拶

# 創立70周年を迎えて



一般社団法人福岡青年会議所 第71代 理事長

**前川 裕貴**

MAEKAWA Hiroki

1953年2月4日、全国で35番目のLOMとして福岡青年会議所が設立し、この度70周年を迎えました。戦後間もない日本で「明るい未来のために」を考え復興に取り組む50名のメンバーから始まり、その時代時代のまちの弱みや強みを見つけ、解決や発展に取り組んできた歴史があります。先人たちの活動・運動の根幹にある情熱は青年会議所としての礎であり、受け継がれている精神です。この精神こそが、JCI福岡の存在意義だと確信しています。

60周年以降のJCI福岡は今までの歴史とは違う壁を乗り越えてきたのではないかと考えます。私たちが住み暮らす福岡市では、2013年に人口が150万人を突破し今現在では163万人を超え、全国でも珍しく人口増加している都市となっています。この成長都市、そして市民の満足度が高い福岡市でも、まちづくり・ひとづくりを掲げるJCI福岡がどのような運動で明るい豊かなFUKUOKAを創造できるかを模索しながらも取り組んできました。そんな中2020年には世界中で蔓延した新型コロナウイルスの影響により、活動・運動に制限をかけなければならない状況となりました。現役メンバーにとってこの制限は歯がゆさを感じたことも大いにありましたが、JCとしての動きだけでなく時代の流れを身に染みて感じる事ができた機会でもあったのではないかと考えます。この目まぐるしく変化

する時代に私たち青年会議所の存在意義を発揮し、邁進してまいり所存です。

JCI福岡では2010年に「アジア交流首都宣言」2016年に「Grand Design Fukuoka」をまちへ提言しています。その提言に続き2021年に「こども未来都市宣言～The child growth is the best work of life～」を発表させていただきました。未来のFUKUOKAのためを考え、未来を担う子どもたちを中心とした提言となっています。「グローバルシティ」「アートシティ」「アーバンスポーツシティ」の3つの柱を立て教育や感性や文化形成をもとに、2030年以降はグローバルスタンダードとなるまちを目指していこうという提言です。

最後に、70年という期間JCI福岡が存続できたのも現役メンバーをいつも気にかけていただけるシニアメンバーの方や、同じ志をもち高め合いながらも協力していただけた各地青年会議所の仲間、そしてJCの活動・運動にご理解いただいている行政・財界・市民の方々はじめ多くの関係者の皆様のお陰です。心から感謝申し上げます。今後も「まちのため」「子どもたちのため」「仲間のため」に感謝の気持ちを忘れず、明るい豊かな社会の実現を目指し、立ち止まらず進み続けてまいります。今後とも変わらないご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 祝辞

服部 誠太郎様  
福岡県知事

高島 宗一郎様  
福岡市長

谷川 浩道様  
福岡商工会議所 会頭

松山 政司様  
福岡JCシニアクラブ 会長

Viktor Omarsson様  
JCI会頭

麻生 将豊様  
公益社団法人日本青年会議所 会頭

安田 量寛様  
公益社団法人日本青年会議所  
九州地区協議会 会長

野田 康友様  
公益社団法人日本青年会議所  
福岡ブロック協議会 会長

川越 大輔様  
一般社団法人宮崎青年会議所 理事長

田尾 繁太様  
一般社団法人下関青年会議所 理事長

イ・スナク様  
釜山青年会議所 会長

Doan Ngoc Hieu様  
サウスサイゴン青年会議所 理事長

Leo Hung様  
香港城市青年会議所 会長

# CONGRATULATORY ADDRESS

## 祝辞

一般社団法人福岡青年会議所が創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。福岡青年会議所におかれましては、創立以来、魅力ある地域づくりや青少年の健全育成など幅広い活動に取り組み、地域の発展に貢献してこられました。特に、皆さんが主導し創設された「アジア太平洋こども会議」は今年で35周年を迎えました。これまでに福岡県を訪れたアジア太平洋地域の延べ52カ国・地域の子どもたちは大きく成長し、今や各国、各分野で活躍しています。こども会議を巣立ったメンバーによるブリッジクラブも34カ国・地域で設立され、本県との交流が活発に行われるなど、本県の国際交流振興に大きく貢献する事業となっています。前川理事長をはじめ、歴代理事長、役員ならびに会員の皆さんのたゆまぬ努力に対し深く敬意を表します。70周年という節目を迎え、青年会議所の皆さんには、結束を一層強め、切磋琢磨され、青年経済人らしい情熱と行動力により、福岡地区はもとより、福岡県の活力ある発展に一層のご尽力をいただきますことを期待いたします。福岡青年会議所の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご活躍を心から祈念いたします。



福岡県知事  
服部 誠太郎

福岡青年会議所におかれましては、昭和28年の結成以来、「修練」「奉仕」「友情」を活動の基本において、経済・産業の振興はもとより、明るい豊かな社会の実現を目指して、様々な活動に取り組んでおられますことに、深く敬意を表します。特に、昭和63年に実現したプロ野球球団誘致活動、平成元年からスタートし35周年を迎える「アジア太平洋こども会議イン福岡」、平成24年は8万人以上が参加した「NAKASU JAZZ」、女性マラソンの「ASIA BEAUTY MARATHON」、世界レベルの選手から一般市民までが参加するサイクルスポーツ「Tour de Fukuoka」など、福岡の文化、芸術、スポーツといった、まちの魅力を活かした大規模な事業を展開され、福岡を発信していただきますことは大変意義深いものと考えております。福岡青年会議所におかれましても、よりよい福岡の「ひとづくり」「まちづくり」を行うため、より一層、邁進されることを期待いたしますとともに、今後のますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



福岡市長  
高島 宗一郎

貴青年会議所は、昭和28年の設立以来今日まで、会員の皆様のそれぞれの分野でのご活躍に加え、一致団結して、福祉やスポーツ、観光など、地域に密着した幅広い活動を一貫して展開され、地域経済の振興はもとより、活力と魅力あふれる地域づくりに多大な貢献をされておられます。さて今日、デフレや円高、エネルギーといった課題が山積し、また価値観の多様化、経済のグローバル化が進展する中、経済社会システムは大きな変革を迫られております。さらに福岡においては、地理的・歴史的な利点や国内外とのネットワークなどを背景に、アジア地域との人的・物的交流はますます活発になり、アジアの交流拠点としての役割を果たしていくことが求められてまいります。この70周年を契機に、会員相互の団結をさらに強め、“明るい豊かな社会を築く”若きリーダーとして地域社会の発展に貢献されることを期待しております。終わりに、福岡青年会議所のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご飛躍を祈念いたしまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。



福岡商工会議所  
会頭  
谷川 浩道

1953年、戦後の復興の進む中、志の高い諸先輩の努力で誕生以来、福岡市への提言・やすらぎ荘支援・プロ野球球団やJリーグの誘致、アジア太平洋こども会議など福岡の地域社会に大きな影響を与えるような素晴らしい事業を成功させてこられましたのも、歴代理事長をはじめ会員の皆さんの情熱とたゆみない努力のたまものと深く敬意を表す次第です。そしてそれは、青年のしがらみにとられない自由な発想、あふれんばかりの情熱、誰にも負けない行動力をいかに発揮してきたからこそ、市民の共感を得ることができ、そして行政や多くの団体、企業、家族の協力があり、このような事業が成したものと確信します。混沌とした社会、世界情勢の中、前川理事長はじめ会員の皆さんが、今後とも目的である、明るい豊かな社会を築くために、変革の能動者としてリーダーシップを発揮し、80周年、100周年に向け新しい歴史をつくっていただくよう祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



福岡J.C.シニアクラブ  
会長  
松山 政司

# CONGRATULATORY ADDRESS

## 祝辞

Dear Members of JCI Fukuoka,

On behalf of JCI members worldwide, I would like express my sincere congratulations on the celebration of your 70th Anniversary. This occasion provides JCI members with new opportunity to continue the momentum we have built while creating positive change. JCI Fukuoka is a leader in setting a strong example for communities within Japan and around the world.

There can be no denying the magnitude of the world's issues. However, JCI Fukuoka members bring motivation, ideas and resources to tackle these challenges. It is our individual responsibility to steer the future of our communities and focus attention on the Millennium Development Goals (MDGs). These targeted and achievable goals are the perfect way for us to focus our efforts toward creating impact. I know JCI Fukuoka continues to take the lead in advancing the MDGs within the Active Citizen Framework.

As JCI Fukuoka recognizes its achievements, look forward to the next 70 years

and how we can all work together to create a positive impact. JCI Fukuoka is a

leader in setting the standard, and I thank you in advance for all you will accomplish in the near future.

Thank you for all the magnificent achievements you have contributed to JCI.

Once again, congratulations on the 70th Anniversary of JCI Fukuoka.

福岡JICの70周年を迎えるにあたり、全世界のJCIメンバーを代表し、お祝いを申し上げたいと思います。この記念はJCIメンバーに、我々が“Positive Change(積極的な変化)”を生み出しつつ構築してきた勢いを継続するための新たな機会を与えることとなります。福岡JICは、日本中、そして世界中で地域社会に力強い手本を示すリーダーJICです。世界に深刻な問題が多く存在することは疑う余地もありません。しかし、福岡JICのメンバーは、モチベーション、アイデア、そして底力をもってこれらの挑戦に立ち向かっています。我々の地域社会の将来を先導し、ミレニアム開発目標(MDGs)へ焦点を当てることは我々個々の責任です。これらの達成可能な目標は、世界にインパクトを与えるために我々が努力を注ぐのに最善のものです。その中で、福岡JICがアクティブシチズンの枠組みの中でMDGsを達成するために先導し続けると信じています。福岡JICが自身の功績を認めつつ、これからの70年間と積極的なインパクトを生み出すためにともに励むことを楽しみにしております。福岡JICはスタンダードを定めていくリーダーであり、近い将来、それを成し遂げるであろうことに先に感謝したいと思います。みなさんがJCIにもたらしてきた素晴らしい業績に感謝します。改めまして、福岡JICの70周年、おめでとうございます。

一般社団法人福岡青年会議所が創立70周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。貴青年会議所は、昭和28年の創立以来70年の長きにわたり、まちの未来を常に考え続け、地域の発展に寄与すべくプロスポーツチーム誘致をはじめとした産業や文化の振興はもとより、国内最大規模の民間外交イベントである「アジア太平洋子ども会議」の開催など、様々な事業を展開されてまいりました。青少年の健全育成、国際交流活動を通じ、官民と連携して活力ある福岡のまちづくりに貢献してこられた暦年の功績に対し、心より敬意を表します。

また、2004年に開催された第59回JCI世界会議福岡大会においては、会員相互の啓発と社会への奉仕を通じて、全世界の青年と連携し、経済社会の現状を研究して進むべき方向性を明確にすることで、経済界の強力な推進力となり、日本経済の発展に寄与されたことと思います。そして、日本青年会議所に対し、毎年多くの優秀な人財をご輩出いただいておりますことや1958年、1977年、1989年と3度の全国大会主管青年会議所としてのご尽力、事業ならびに運動の連携など、日頃からの多大なるご理解とご協力で深く感謝申し上げます。さらに、2024年には第73回全国大会福岡大会の開催が控えております。全国大会を通して福岡のさらなる発展を心より祈念申し上げます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックや、紛争をはじめとする不確実な情勢が世界を覆うなか、夢を描くことすら忘れてしまい、日々を何気なく過ごすことも増えたかと思えます。しかしながら、創立より青年経済人の想いを紡いでこられた貴青年会議所の皆さまにおかれましては、諸先輩方の熱き想いを継承し、70周年という記念すべき年に、前川裕貴理事長の掲げられる「Keep Going」というスローガンのもと、志を高く持ち、夢に向かって全力で「家族のため」、「社員のため」、「仲間のため」、「FUKUOKAのため」感謝の気持ちをお忘れず、明るい豊かな社会の実現を目指し、邁進されることと存じます。

我々としまして、「Drive our dreams～日本の魅力で世界を席巻しよう～」を掲げ、全国各地で夢を描く仲間の事業をともに進め、総合連絡調整機関として日本の底力を世界へ発信してまいります。引き続き本会に対し、深いご理解、ご支援を賜るとともに、大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動を展開されまこと、先輩諸氏、現役会員の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。



JCI 会頭  
Viktor Omarsson



公益社団法人日本青年会議所  
会頭  
麻生 将豊

前川裕貴理事長をはじめとされます一般社団法人福岡青年会議所の皆様、創立70周年誠にありがとうございます。九州地区内会員会議所を代表し、心よりお慶び申し上げます。また、長年にわたりJIC運動を通して歴史を紡いでこられた先輩諸兄弟、運動をお支えいただきました関係諸団体の皆様、地域の皆様へ深く敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、2020年からの新型コロナウイルス感染症に始まり、ロシアによるウクライナ侵攻や急加速する円安など、私達の周りには絶えず解決すべき課題や問題が山積しています。福岡青年会議所の皆様にとってもこの2、3年は思うような活動ができず多くのメンバーで議論し、悩まれたこともあったかと推察いたします。そのなかで、第33回国際アカデミーin福岡の開催や、全国大会への立候補など、その姿勢で私達九州地区内のメンバーを鼓舞していただき、暗くなりつつあった社会に光をあてていただいたと感じております。私たち青年会議所は常に歩みを止めることなく明るい豊かな社会の実現のために運動を続けなければなりません。まさに第70代西崎理事長の「転機」から第71代前川理事長の「keep Going」というスローガンが表しているように、様々な世界情勢に対応し前に進み続ける必要があります。協議会といたしましても「2020年代の協議会モデル」にあるLOM支援という協議会の最も重要な役割に原点回帰するために、また、青年会議所が青年に成長と発展の機会を与え、地域に好循環を起こす組織であり続けるために、時代に合わせてアップデートしてまいります。九州地区協議会に対しましても引き続きのご理解とご協力を賜られたらと存じます。

結びに、日本の魅力で世界を席巻するために、日本を九州が、九州を福岡がリードし、さらなる発展を遂げられますこと、皆様のご繁栄とご多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所  
九州地区協議会 会長  
安田 量寛

一般社団法人福岡青年会議所設立70周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、1953年の設立から今日に至るまでの70年間という長きにわたり、熱い情熱をもって地域社会の発展にご尽力された諸先輩方の功績に心からの敬意を表すると共に、諸先輩方の誇り高き志を受け継ぎ日々JIC運動に邁進されているメンバーの皆様へ心よりお祝いと感謝を申し上げます。

設立70周年という節目の年に、前川裕貴理事長の「keep Going」というスローガンのもと、大きな目標を掲げメンバー丸となって力強くJIC運動を展開されていることと確信しております。また、ここ数年においては終わりの見えないコロナ禍の中で、様々な局面で難しい判断を迫られて来たことと存じます。その時々で新たな手法を取り入れ様々な工夫を凝らしJIC運動を途絶えさせることなく発信し続けているメンバーの皆様への惜しみない努力に敬意を表し、感謝申し上げます。この度の創立70周年という節目の年を迎えられたことは、これまで長きにわたり守るべきものは守り、変えるべきものは変え、高い志と情熱のもと勇気をもって時代に即した運動を展開して来られた証しだと考えます。このまっく新しい時代の中で、諸先輩方から受け継がれてきた熱い情熱のもと、地域がより良くなる力強い運動をこれからも発信し続けていきたいと思います。

本年度、福岡ブロック協議会は、「夢を掴みにいく背中」に溢れた 世界に誇れる福岡をつくる」というスローガンのもと、夢を語り実行できるリーダーを多く生み出し、地域発の素晴らしい運動の数を最大化するために、各地青年会議所の皆様との連携をより一層深め、共に地域の発展に寄与する運動を展開してまいります。2024年度、第73回全国大会を主管される一般社団法人福岡青年会議所の皆様とは、大会の大成へ向けて様々な場面で力を合わせ、より一層の成長と発展の機会を共有させていただければ幸いです。

設立70周年を迎えられた一般社団法人福岡青年会議所の皆様へ、前川理事長のリーダーシップのもと、英知と勇気と情熱をもって展開される運動が地域により良い変化を与え、地域に誇りと希望を与える契機となることを確信し、明るい豊かな社会の実現に向けて益々ご活躍されることを祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人福岡青年会議所が創立70周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、設立時にスポンサーをいたしたご縁にて、このように70年の長きに渡り関係が続いていること、そしてこのように寄稿させていただけること大変光栄に思います。

これも福岡青年会議所が創立以来、地域のためにご尽力され、福岡の発展に繋がる事業を構築し、そしてそれを運動に変えてこられた結果であるとともに、70年の長きに渡り地元愛に溢れた先輩諸兄弟が「明るく豊かな社会の実現」を目指し、常に高い志で青年会議所活動に邁進されてこられた賜物であると考えます。

私たちを取り巻く環境はこの数年で大きく変化し、過去からは予測できない新型コロナウイルスという困難により、ここ数年は経済や社会に大きな陰影をおとすこととなり、昨年はウクライナ侵攻による影響も大きく、社会経済のみならず私たちの生活にまで大きな影響を及ぼしております。このような状況の中、本年度、前川裕貴理事長が「keep Going」をスローガンとされ、困難の多い今だからこそ歩み続けていくのだという強い想いに共感し、奮い立つ会員も多く、地域は違えどこの社会課題に相対する一人として勇気づけられております。

昨今の社会課題は根深く、困難な課題が山積しており、不安な感覚に陥る方々も多くいるかと思えます。しかしそのような時だからこそ、我々青年が立ち上がり、希望をもたず変革の起点として社会の課題を解決しながら持続可能な地域を創っていくことが必要なのではないでしょうか。前川理事長が掲げられます「keep Going」というスローガンには易きにつかず前進し続ける想いが込められているのだと想いを馳せるところであります。「新日本の再建は我々青年の仕事である」という志ではじまった青年会議所運動ですが、時代は変わっても相対する課題があり、これに正面から向き合い取り組む青年会議所の会員がいるのですから、住み暮らす地域のため、社会のために切磋琢磨し、ともに青年会議所運動に邁進してまいりたいと思っております。

結びとなりますが、福岡青年会議所が創立70周年をきっかけとし、さらに強固な組織へと発展し志高く飛躍されますこと、また福岡青年会議所に関わる全ての方々のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げ、祝辞の言葉とさせていただきます。創立70周年、誠にありがとうございます。

この度、一般社団法人福岡青年会議所が創立70周年を迎えられましたこと、一般社団法人下関青年会議所会員一同、心よりお慶び申し上げます。「明るい豊かな社会」の実現に向けて、地域に根ざした活動を実践し、輝かしい功績を積み重ねてこられた歴代理事長をはじめとする先輩諸兄弟並びに会員の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

福岡市は、東京一極集中や人口減少をはじめとする様々な社会課題が叫ばれるこの日本において多方面で成長し続けており、企業誘致やスタートアップ支援など、名実ともに日本を牽引する都市であることを実感します。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大やロシア連邦によるウクライナ侵攻などにより世界情勢が揺らぐ中、新たな挑戦を発信し、進化し続けることに新しい時代の都市像を感じております。

貴青年会議所におかれましては、今日までプロ野球球団の再誘致やNAKASU JAZZの実施、こどもFUKUOKA未来博の開催をはじめとする数多くの事業を実施されてきました。それらが福岡市の発展に多大に寄与していることは誇れることであり、これから先もまちやひとを未来に導くための活動がなされることと確信しております。求められるリーダーシップの在り方も変化しておりますが、これからも創造力と先見性のある貴青年会議所の皆様が一先陣を切って新たなリーダー像を体現されることと思っております。

また、日韓外交正常化前から締結しているJCI福岡・JCI釜山・JCI下関とのトリオ関係は、青年会議所が掲げる信念のひとつである同胞愛の象徴です。私たち自身が日本青年会議所を牽引していることと自覚することができ、更に発展させていく責務を強く感じます。時が流れ、社会的背景が変化する中で、これからは次代を切り拓く同志として活動させていただきたく存じます。

結びに、創立70周年を契機に持続可能な福岡の実現に向かって、貴青年会議所が益々ご発展されることをお祈りいたしますとともに、先輩諸兄弟並びに会員の皆様により一層のご活躍・ご健勝を心よりご祈念申し上げます。



公益社団法人日本青年会議所  
福岡ブロック協議会 会長  
野田 康友



一般社団法人宮崎青年会議所  
理事長  
川越 大輔



一般社団法人下関青年会議所  
理事長  
田尾 繁太

# CONGRATULATORY ADDRESS

## 祝辞

안녕하십니까?

존경하는 후쿠오카청년회의소 회원 및 특우회 선배님!

반갑습니다. 부산청년회의소 회장 이순학입니다.

후쿠오카청년회의소 창립 70주년을 맞이하게 된 것을 부산청년회의소 회원과 더불어 진심으로 축하드립니다.

1965년에 부산 JC, 시모노세키 JC, 후쿠오카 JC, 이 3개의 례이 트리오 JC를 체결하여 58주년이 되었습니다. 트리오 JC를 체결한 이후, 홀스테이 사업과 매년 진행되는 서로의 창립기념식을 방문하며 상호교류를 지속해오며 JC우정이 매해 깊어졌던 것 같습니다. 중간에 코로나 신형 바이러스로 인해 피치 못하게 방문을 할 수 없는 상황 속에서도 화상회의를 통한 해결방안으로 트리오 회의를 지속하며 JC우정을 돈독히 할 수 있었습니다. 지난해 11월 부산 JC 창립기념식에 후쿠오카 JC와 시모노세키 JC가 3년만에 부산을 방문하였습니다. 오랜만에 서로의 잔을 기울이며 나누었던 뜻깊은 시간을 잊지 못합니다. 이번 후쿠오카 JC의 창립 70주년 기념식을 함께 기뻐하며 앞으로 80주년, 100주년의 역사를 함께 이어나갔으면 좋겠습니다.

후쿠오카청년회의소의 역사는 많은 선배님들의 정열적인 청년운동의 전개와 더불어 회원 여러분의 의지가 하나로 모아져 이루어낸 결실과 보람의 시간이었다고 생각합니다. 앞으로 후쿠오카청년회의소 전 회원 여러분께서는 이러한 선배님들의 희생으로 쌓아온 업적을 본받아 후쿠오카청년회의소의 훌륭한 업적을 계승하고 발전시켜 JC조직의 위상을 재정립하여 지역민들과 함께 공감 하고 성장할 수 있는 건강한 청년조직으로 응비하시기를 기원드립니다. 2023년 마에카와 이사장님께서 회원 여러분과 합심단결하여 미래 사회를 개척하고 열어가시는 젊은 지도자로서 중추적인 역할을 다해주시리라 기대합니다.

끝으로 다시 한 번 후쿠오카청년회의소 창립 제70주년 기념식을 축하드리며, 면면히 이어져 내려온 전통이 더욱더 발전하길 바라며 후쿠오카청년회의소의 영광과 축복을 회원여러분에게는 건강과 행복이 충만하시기를 기원합니다.

감사합니다.

Dear President Hiroki Maekawa and members of JCI Fukuoka as well as past presidents and senior members,

It is a great honor for me to represent JCI South Saigon to congratulate JCI Fukuoka on this momentous 70th Anniversary. From your foundation on February 4th, 1953 until this day, you have always been an inspiring model for younger chapters like us and we are grateful for the twinning agreement we signed in 2016.

Through many international events such as Asia Pacific Children Convention (APCC) since 1989, JCI World Congress in 2004 and J-5 meeting just recently in 2022, JCI Fukuoka has been exemplary in demonstrating the JCI Creed "that the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations". Moreover, during crises like the Great Hanshin Earthquake and the Great East Japan Earthquake, JCI Fukuoka members have come together to provide supports to areas in needs.

These projects and events have contributed greatly to nurturing many active citizens and young leaders over the 70-year history of JCI Fukuoka.

To us, JCI Fukuoka is a great brother and we will always treasure the bonds we have. With the legacy left behind by all the senior members and former leaders as well as the leadership of 2023 President Hiroki Maekawa, I believe JCI Fukuoka members will continue to show their potential, their abilities and their passion on the JCI stage just as the slogan "Keep going".

Thanks for all the members who make this 70th anniversary a memorable milestone.

Congratulations once again on your 70th Anniversary!

Let's "Keep going" together!

Yours in JC Spirits,



釜山青年會議所 會長  
イ・スナク



サウスサイゴン青年會議所  
理事長

Hieu Doan

On behalf of JCI City, may I first congratulate President Hiroki and JCI Fukuoka on this occasion of the 70th Anniversary! We are definitely honoured to be invited to celebrate this important occasion!

With the pandemic situation for almost three years, this is the magical moment that we can reconnect and our members can visit the 70th Anniversary of JCI Fukuoka physically!

A big congratulations to all JCI Fukuoka past presidents and past board of directors for their continuous efforts in providing value, vision and passion to build JCI Fukuoka for 70 years, and make JCI Fukuoka one of the most outstanding chapters, not just in Japan, but also in the world!

Stepping towards 39 years of bonding with our Fukuoka members since 1984, JCI City has always cherished the friendship with appreciation. Going forward, I believe the close ties will only foster and blossom as more collaboration and exchange take place.

Thank you JCI Fukuoka for always being so supportive of your members in Hong Kong and we will continue to join hands with our JCI Fukuoka Members!

Once Again, congratulations JCI Fukuoka for the 70th Anniversary!



香港城市青年會議所 會長  
Leo Hung


福岡青年会議所  
**歴代理事長紹介**  
 第1代—第60代

INTRODUCTION OF  
 PAST PRESIDENTS  
 1953 - 2012

福岡青年会議所  
**歴代理事長紹介** 第1代—第60代

1953

第1代  
 第2代  
 会員数: 50名



**橋上 保久**

- 2月 福岡市他全県下有志により福岡青年会議所結成  
福岡商工会議所で創立総会を開く  
会費月額300円・入会金2,000円
- 7月 日本JC西日本地区大水害救援本部を福岡JC内に設置
- 10月 毎月第3火曜日に例会を開くようになる
- 10月 福岡市へ街路樹100本を贈呈する

1955

第3代  
 第4代  
 会員数: 47名



**貝島 正二**

- 2月 緑の羽根10,000本購入して、緑の羽根運動に協賛
- 3月 長崎平和記念像建設資金募集
- 7月 会計年度を暦年に変更するなど決議する
- 5月 久留米で第4回九州地区会員大会を開く
- 8月 福岡JC奨学生規定制度を制定する

1957

第5代  
 会員数: 55名



**伊藤 剛平**

- 2月 定例総会を行い、年齢制限を35歳から40歳に引き上げることを決議する
- 8月 熊本ほか水害地区へ救援物資を発送

1958

第6代  
 会員数: 71名



**高松 光彦**

- 2月 会費月額1,500円に改訂する
- 5月 ライオンズクラブと共催で施設児童500名をサーカスに招待
- 10月 第7回全国会員大会を福岡にて開催する

1959

第7代  
 会員数: 77名



**武内 徳夫**

- 1959年 1月 第1回卒業生を送る夕べを開く
- 12月 全国大会記念として噴水「希望の泉」(動物園前)を福岡市へ贈呈

1960

第8代

会員数:86名



野上 恭敬

- 1月 JCレポート第1号発刊(以後毎月例会日に発行)
- 2月 会員規律維持規定・会員表彰規定を制定する

1961

第9代

会員数:92名



坂本 行雄

- 1月 商工会議所会頭及び副会頭と懇談会を開く
- 2月 入会金を10,000円に改定

1962

第10代

会員数:94名



高松 邦彦

- 2月 早稲田大学尾関守氏を招いて第1回マネージメントセミナーを開く
- 9月 JC統一事業として市長その他と市政を語る会を持つ  
定款の改正、目的・特別会員の資格・常務理事の新設・  
委員会運営規定の改正など決議する

1963

第11代

会員数:98名



喜多村 辰男

- 3月 第1回LT研修会を開き会員企業の報告と討議を行う
- 10月 九州縦貫自動車道路建設促進要望の賛成署名を取りまとめる

1964

第12代

会員数:98名



四島 司

- 6月 10周年記念事業中間発表  
明るい町づくり協議会参加  
第2回九州シニアJayceeの集い、福岡で開かる
- 8月 東南アジア留学生と懇談会を開く

1965

第13代

会員数:112名



大賀 禮太郎

- 1月 10周年記念事業発表「人間都市をめざして」を中心に  
経済記者と懇談会
- 2月 経済団体連絡会議初会合(10周年記念事業  
「福岡における期待と提言」について)
- 4月 福岡・下関・釜山、トリオ会議締結
- 9月 九州で初めて優秀広報誌賞を受賞
- 12月 「福岡における期待と提言」にJCI賞

1966

第14代

会員数:118名



麻生 純三

- 5月 9日、6月19日 西公園埋立て中止を市に申し入れ
- 11月 釜山JCI金会長以下数名のメンバーが来福

1967

第15代

会員数:120名



久野 桂一

- 1月 「明日の市民生活へのビジョン」と題して福岡JC新春  
座談会。RKBにて放送
- 4月 ジョンソンアメリカ大使、東南アジア開発に日本の協力を  
福岡JCで語る
- 9月 東南アジア留学生招待(国際委員会主管)  
広報活動に対しプエルトリコ賞を受賞
- 10月 姉妹都市オークランドへ鳥居を贈る

1968

第16代

会員数:120名



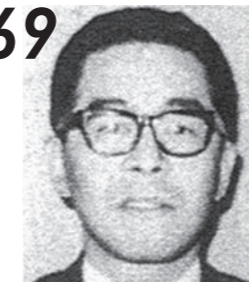
中島 邦補

- 6月 1970年度JCIコンファレンス開催地に立候補
- 9月 福岡JC創立15周年記念式典
- 10月 日本JC第17回全国会員大会において優秀広報誌賞を  
受賞  
記念事業「人間都市への提案」を発表、反響を呼ぶ

1969

第17代

会員数:123名



栗栖 健一郎

- 4月 JCI副会頭ロキス・A・ベビン君来福  
例会場がミタカホールより西鉄グランドホテルに変更  
される
- 5月 1970年JCI福岡コンファレンス決定
- 6月 市民会議「渡辺通りに緑の大歩道を！」



1970

第18代

会員数:153名



田中丸 善司

- 4月 福岡JCLレディース・クラブ発足  
JCI福岡コンファレンス開催(貴賓 常陸宮殿下ご夫妻)  
2,300名参加
- 10月 初の理事選挙が行われる

1971

第19代

会員数:173名



後藤 隆雄

- 4月 社団法人化する
- 8月 初の理事長選挙が行われる

1972

第20代

会員数:194名



洞 尚

- 3月 「ゴーヤングブルー」ラジオ広報開始  
(RKB毎日放送日曜夜)
- 4月 政令都市発足記念祝賀パレード
- 7月 「やすらぎ荘」に身障児招待
- 8月 「明日の経営を求めて…」  
第1回福岡JC経営トップセミナー
- 9月 「日本JCデー」「一本の苗、一つの心、大きな輪」  
夜須高原でヤングの集い
- 10月 第1回福岡JC「広報セミナー」

1973

第21代

会員数:234名



江口 昭八郎

- 3月 釜山空港に時計台を贈呈  
創立20周年記念式典挙行政
- 4月 つくしJC承認証伝達式
- 7月 第1回会員研修セミナー AOYについて
- 9月 JCデー統一行事
- 11月 ハワイ文化経済交流使節団派遣

1974

第22代

会員数:277名



金子 宜嗣

- 11月 釜山JC創立23周年記念式典参加

1975

第23代

会員数:294名



近江 福雄

- 5月 博多どんたく初参加  
第22回九州地区会員大会主管
- 8月 JCデー統一行事

1976

第24代

会員数:323名



古賀 秀策

- 2月 第1回L・I・Aセミナー
- 9月 JCデー統一行事
- 11月 第1回文化講演会

1977

第25代

会員数:329名



加地 良一

- 5月 博多どんたく参加
- 9月 JCデー統一行事
- 11月 糸島JC承認証伝達式

1978

第26代

会員数:339名



富永 恒二

- 3月 創立25周年記念式典  
創立25周年記念行事「日本の歌よもやま」  
創立25周年記念パーティー
- 4月 JCデー統一行事推進最優秀賞受賞
- 6月 トリオJCミニコンファレンス
- 10月 JCデー統一行事推進優秀賞受賞

1979

第27代

会員数:337名



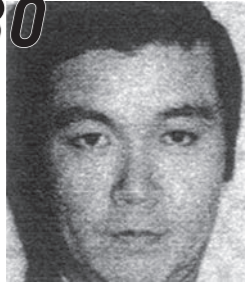
榎本 一彦

- 5月 第1回経営スクール 於まいする苑  
テーマ「福岡の経営基盤と展望」
- 6月 友好訪中団 北京～桂林～広州
- 8月 TNC24時間チャリティマラソン番組募金運動

1980

第28代

会員数:365名



冬至 洋一

- 4月 ロバート議事法セミナー  
第1回KJ法セミナー
- 6月 JC青年の船参加 横浜～香港～台湾～博多
- 9月 福岡・ハワイ友好親善使節団ハワイ派遣
- 11月 ハワイ桜の女王歓迎レセプション

1981

第29代

会員数:386名



新川 宏輔

- 6月 JC青年の船参加 横浜～香港～基隆～横浜
- 8月 第2回明日の福岡を考える青年経済人会議
- 12月 JC市議団との懇談会

1982

第30代

会員数:382名



青柳 泰秀

- 4月 アジア難民慰問事業 於、香港
- 9月 童歌集会「思い出そう子供のこり～今わらべ歌を～」
- 11月 釜山JC30周年記念式典参加

1983

第31代

会員数:344名



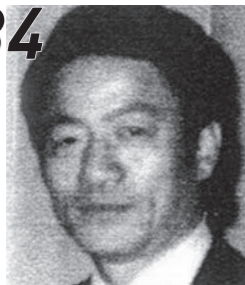
熊谷 信治

- 3月 創立30周年記念春の室内家族大運動会
- 4月 パーフェクト例会  
ゲスト金子信雄 テーマ「食べることの知恵」
- 5月 創立30周年記念式典・懇親会
- 6月 北方領土返還要求リレーマラソン 福岡県庁前～宗像
- 7月 行革シンポジウム

1984

第32代

会員数:372名



福永 周兵

- 1984年 3月 アメリカ海軍士官との親善パーティー  
第1回 福岡JC健康駅伝大会
- 11月 香港城市(City)JCとの姉妹JC調印式
- 12月 JCデー統一行事「やすらぎ荘支援100万人募金運動」

1985

第33代

会員数:378名



榎本 正弘

- 2月 禅道場入門 於、端石禅寺
- 8月 JCデー統一行事「福岡こども使節団」韓国派遣  
(釜山～慶州)
- 9月 JCデー統一行事「おやじの出番を考える集い」
- 11月 釜山JC創立33周年記念式典訪問
- 12月 留学生支援街頭募金活動

1986

第34代

会員数:403名



中牟田 健一

- 4月 福岡JC中国経済視察団派遣(中華人民共和国)  
プロ野球球団誘致シンポジウム
- 7月 日韓交換こどもホームステイ(釜山来福)
- 8月 福岡こども使節団派遣
- 9月 ～全国一斉6万人例会(100%例会)～

1987

第35代

会員数:388名



中村 量一

- 4月 三世代交流ファミリーゲートボール大会  
日本JCじゃがいも西日本地区大会
- 7月 「～燃えよ、立ちあがれ今こそ九州プロ野球～」  
リレーマラソン野球・誘致推進市民パレード・  
テレビ公開シンポジウム  
日韓こども交換ホームステイ
- 9月 インターナショナル運動会
- 10月 国際児童絵画展

1988

第36代

会員数:396名



財津 重美

- 2月 福岡青年会議所35周年記念式典
- 4月 三世代交流ゲートボール大会
- 8月 日韓こども交換ホームステイ

1989

第37代

会員数:386名



石坂 博史

- 2月 福岡ブロック第1回会員会議
- 4月 「平和台を赤のプレザーでうめつくせ」  
メンバー100余名にて福岡ダイエーホークスを応援に
- 7月 第38回全国会員大会記念事業  
「アジア太平洋こども会議・イン福岡」
- 9月 社団法人 日本青年会議所  
「第38回全国会員大会・福岡大会」

1990

第38代

会員数:350名



真鍋 博俊

- 7月 「第2回 アジア太平洋子ども会議・イン福岡」
- 11月 第26回身体障害者スポーツ大会「後夜祭」

1991

第39代

会員数:388名



小林 専司

- 3月 九州JCシニアクラブ 合同総会・例会
- 7月 第2回アジア太平洋学校
- 8月 第3回アジア太平洋子ども会議・イン福岡
- 10月 日韓サッカー大会
- 11月 ときめきフェスタ

1992

第40代

会員数:435名



樺島 逸兵

- 3月 九州JCシニアクラブ 合同総会・例会
- 7月 第3回アジア太平洋学校
- 8月 第4回アジア太平洋子ども会議・イン福岡
- 10月 日韓サッカー大会
- 11月 ときめきフェスタ

1993

第41代

会員数:394名



菅原 正道

- 4月 九州地区協議会マラソンリレー
- 6月 香港City JC周年記念行事参加
- 7月 第5回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '93  
40周年記念式典・懇親会  
Jリーグを福岡に誕生させるための署名開始
- 9月 釜山JC40周年記念式典参加

1994

第42代

会員数:402名



河邊 哲司

- 3月 アジア太平洋ミッション地球の風使節団 実施
- 5月 ケーブルビジョン番組制作「しっとうね福岡JC」
- 6月 ラブアースクリーンナップ九州 '94  
JCスクールビジネスセミナー
- 7月 第6回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '94
- 9月 Jリーグ設立総会・記念式典
- 10月 日本文化デザイン会議 '94

1995

第43代

会員数:371名



安川 哲史

- 1月 阪神大震災支援物資輸送
- 3月 地球の風使節団派遣
- 7月 第7回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '95
- 9月 ユニバふれあい交流イベント
- 11月 ブルックス Jリーグ昇格祝い

1996

第44代

会員数:346名



松山 政司

- 2月 組織改革諮問会議、21世紀創り諮問会議
- 3月 地球の風使節団派遣
- 6月 JCスクールビジネスセミナー
- 7月 第8回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '96
- 9月 ハートフル・ウォーキング IN 天神

1997

第45代

会員数:343名



吉松 修

- 3月 子ども会議市民移管討論会  
第9回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '97派遣事業
- 5月 第1回LDセミナー
- 7月 第9回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '97
- 9月 ハートフル・ウォーキング IN 天神
- 10月 アルミランド '97イン福岡 医療NGOチャリティゴルフ

1998

第46代

会員数:334名



田中 彰洋

- 2月 シティマラソン(子ども会議参加)
- 3月 第10回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '98派遣事業
- 7月 第10回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '98  
やすらぎ荘JC招待キャンプ
- 8月 ハートフル・アドベンチャーラリー IN 博多の森
- 9月 45周年記念式典・懇親会
- 10月 歴代理事長会議
- 11月 福岡のコミュニティ支援実行クラブ
- 12月 北九州JC・福岡JC親善ゴルフ大会

1999

第47代

会員数:313名



新町 敦志

- 3月 第11回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '99派遣事業
- 4月 西日本じゃがいも主管開催
- 5月 地球市民の日事業子どもサバイバルキャンプ
- 7月 第11回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 '99
- 12月 事務局改装公聴会

2000

第48代

会員数:305名



藤野 利浩

- 3月 第12回アジア太平洋こども会議・イン福岡 '00派遣事業
- 4月 アジア太平洋こども会議・イン福岡主管事業移管決議九州地区洋上スクール開校
- 5月 第1回APCC戦略会議
- 7月 第12回アジア太平洋こども会議・イン福岡 '00
- 8月 サバイバルキャンプ実施
- 10月 JCI世界会議誘致決議
- 11月 札幌世界会議で「アジア太平洋こども会議」事業がJCI平和教育賞受賞
- 12月 学校教育を考える討論会テレビ収録「定款」及び「規定」改正

2001

第49代

会員数:296名



井上 貴博

- 1月 例会会場の移転、ホテルニューオータニからグランド・ハイアット・福岡へ
- 2月 臨時例会「JCI世界大会誘致ビットアンケート発表例会」
- 4月 JCI世界会議国内BIDプレゼンテーション JCI世界会議誘致決起大会
- 5月 JCI世界会議国内BID権獲得 こども会議のNPO法人化
- 11月 福岡JC・北九州JC友好JCを締結

2002

第50代

会員数:313名



岩本 仁

- 4月 第3エリア合同例会開催
- 5月 アスパックにて、JCI世界会議誘致キャラバン実施
- 6月 50周年記念提言準備諮問会議答申書提出
- 7月 50周年実行委員会設置
- 11月 ラスベガス世界会議にて、2004年JCI世界会議福岡大会誘致決定
- 12月 50周年記念提言「よかひと、よかまち、よかくらし、よかばいふくおか」理事会承認

2003

第51代

会員数:292名



廣田 稔

- 3月 ASPAC セネター理事会
- 7月 博多祇園山笠体感事業
- 8月 2004年ASPCセブ大会VIPランチョン
- 10月 第16回国際アカデミー福岡主催ディナー
- 10月度100%例会
- 11月 世界会議コペン大会VIPランチョン

2004

第52代

会員数:283名



井上 博行

- 6月 第3エリア世界会議支援じゃがいも大会
- 7月 世界こども会議招聘事業
- 11月 第59回JCI世界会議福岡大会
- 12月 九州地区サンクスナイト

2005

第53代

会員数:274名



宮崎 鐘子

- 5月 第16回ノーサイドクラブ全国大会 in 福岡
- 6月 香港城市JC創立記念式典
- 8月 教育問題推進委員会:公開例会
- 9月 The Sun Flower Project 1
- 10月 アジアの絆委員会:シンポジウム
- 福岡の伝統文化伝承事業

2006

第54代

会員数:272名



小池 勝利

- 7月 JCI公認トレーナーによるコーチング例会の実施
- 8月 教育シンポジウム
- 9月 セミナーショウケース
- やすらぎ荘支援街頭募金
- 10月 第1回 夢市民プロジェクト
- 12月 第2回 夢市民プロジェクト

2007

第55代

会員数:284名



富永 太郎

- 7月 生ごみリサイクル元気野菜作り
- We are the BRIDGE フェスティバル2007
- 「伝えたいこと～心の宝物を贈ろう」運動
- 8月 若者JC塾
- 9月 スポーツ好き!? ぜんいんしゅうごう!!～We are the Player.2007～
- 11月 食育フェスティバル

2008

第56代

会員数:272名



新開 裕司

- 5月 飲酒運転撲滅「0(ゼロ)からの風」上映例会
- 7月 響けオッシュョイ!世界のこどもたちに～we are the osshoi 2008 響きあう!我ら地球市民!～
- 9月 We are the Players 2008
- 11月 命はまだ響き続ける事業

2009

第57代

会員数:272名



大村 光

- 7月 道徳のススメ ドリカムキッズ・キャンパス
- 8月 九州地区大会 2009in 福岡
- 12月 福岡青年会議所情報誌 (THINK-ing～ふくおかのまちづくり・人づくりを考えていく～)発行の件



2010

第58代

会員数:258名



大山 哲寿

- 7月 | アジア太平洋子ども会議イベントの実施
- 8月 | NAKASU JUZZ 2020
- 11月 | 「TOUR DE FUKUOKA 2010～トップランナーシティ FUKUOKAがアジアの未来を創る～」
- 「ビジョン策定セミナー」～よか街よか企業は揺ぎ無いビジョンから～

2011

第59代

会員数:267名



長沼 慶也

- 7月 | 「To the Asia, To the world, We can do it !」
- 9月 | 福岡フォーラム2011～アジアの拠点都市をめざして～
- 「ART Feeling ～福岡から“あかり”を～」
- 10月 | ASIA BEAUTY MARATHON 2011
- 11月 | 博多どんぶり FESTIVAL

2012

第60代

会員数:274名



末松 大和

- 4月 | 2012年度日本JCじゃがいもクラブ第41回西日本地区大会
- 8月 | キッズモールFUKUOKA2012～子ども達と地域を繋ぐ懸け橋～
- 11月 | スポーツを通じた地域活性化事業の実施
- 12月 | 60周年記念誌「TRANSMISSION」作成

福岡青年会議所

# 歴代理事長紹介 10年のあゆみ

第61代—第70代

# PRESIDENT of THE BOARD FOR 10 YEARS 2013 - 2022

2013年

〈第61代〉

# 失敗を恐れず、 とにかく行動してほしい



第61代理事長

# 田川幸平

SLOGAN

2013年度スローガン

## TRANSMISSION

— 当時のスローガンに込めた想いを教えてください

2013年度のスローガン「トランスミッション」は、60周年の式典実行委員会のもので、そのまま使わせてもらいました。伝達やギアといった意味があり、シンボルには歯車が描かれています。JCの過去をきちんと振り返り、良いものを後輩たちに伝えていこうという想いを込めています。

— どのような組織づくりに注力されましたか？

主役は委員会ですから、委員会を型にはめるような組織にはしたくなかった。自由性を持たせたうえで、委員会がやりたいことを執行部がフォローアップしていくという関係性・組織作りに重点を置きました。委員会が挙げてきたことは否定をせず、実現させるためにどのようなアドバイスをすればよいか、メンバーそれぞれが持つ経験を踏まえてどうすれば実現できるのか、そういった前向きな議論をしていくよう心がけました。

— 任期中で大変だったことを教えてください

JCと仕事と家庭のバランスを維持するのは大変でしたね。理事長をしているとほとんどの時間をJCに割かなければならなかったため、バランスは否応なしに崩れました。でも、大

変だったのは家族と従業員たちだったと思います。

バランスが崩れていく中でも、必ず朝は会社に行き、日中も時間が空けば会社に戻って仕事をするようにし、社員とコミュニケーションを取るようにしました。家庭では「嫁の日」を毎月設けて、その日は一日家族と過ごしました。

もう一つ大変だったのは、アニバーサリーのスピーチです。一言一句間違えずに暗記しなければならなかった。私が話す後ろで、スピーチに合わせてプロジェクションマッピングが投影されたのですが、スピーチを間違えると映像とずれてしまうので、間違えずに一定スピードで話さなくてはならなくて、大変でしたね。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？

全メンバーとコミュニケーションが取れたことです。これは理事長だからこそできることかと思えます。

それから、業態的にJCの活動が直接仕事に繋がることはありませんでしたが、「経営」についての考え方などを学べたのは大きかったです。

可愛がっていた後輩が理事選に出る決意をしてくれたことも、非常に嬉しかったですね。

— MVP委員会を受賞されたのは総務財政委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？

こども環境創造委員会をはじめとし、どの委員会も一生懸命やってくれていたため、優秀はつけがたかったです。

MVPは総務財政委員会が受賞したのですが、JCの「楽しい」部分を一年間体現させていた委員会だったと思います。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ

「人」です。色々な人がいることが面白くもあり、力にもなりました。尊敬できる先輩、同期、後輩との出会いがあり、その出会いが、今の自分の大部分を形作っています。



— 現役中に失敗談があれば教えてください

目上の人に対する言動です。当時の礼儀をわきまえない言動は未だに反省しています。世界会議の副委員長時代は非常に忙しく、一番年下でこなさなければならないことに追い詰められていました。そんな中、思ったように動いてくれない組織に苛立ち、先輩方に失礼な態度を取ってしまいました。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？

失敗を恐れず、とにかく行動してほしい。「評論家」や「批判家」になるのではなく、自ら動いてほしい。失敗してもいい。自分達で一生懸命考えて行動することが大切だと思います。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？

そもそも目指していなかったけどね(笑)。  
理事長は目指さないが、自分の礼儀知らずの言動によって失敗した人間関係には注意しながら活動したいと思えますね。

### 2013年度 主な事業内容

- 1月 新春例会
- 2月 60周年記念式典
- 3月 New River Style Project 『HAKATA SAKURA 2013』
- 7月 アジア太平洋フードフェスタ in 福岡  
カンパニーステイ  
カルチャーフィール
- 10月 Daimyo Art Action
- 11月 RUN with the WORLD  
FUKUOKA STADIUM ～スタジアムパーク 構想～  
FUKUOKA HAPPY COLLECTION 2013  
講師公開例会「CHANGE!～出会いが人を変える～」
- 12月 送る夕べ



### 2013年 日本の動き

1. 2020年夏季五輪開催地、東京に決定
2. 楽天、球団創設9年目で日本シリーズ初優勝
3. 元巨人の長嶋茂雄氏、松井秀喜氏に国民栄誉賞
4. 「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録
5. NHN Japan、LINEの利用者が世界で1億人突破と発表
6. 参院選で自民圧勝
7. アベノミクス始動、異次元緩和で円安・株高
8. 「くまもん」「ふなっしー」ご当地ゆるキャラブーム
9. 世界文化遺産登録で富士山登山の人気高まる
10. スーパームーン現象

### 2013年 世界の動き

1. レッドソックス、95年ぶりにワールドシリーズ優勝
2. プレイステーション4発売 北米にて24時間で100万台に
3. 韓国 朴槿恵氏が同国初の女性大統領として初就任
4. 英サッカー元代表ベッカム、引退を表明
5. ローマ教皇ベネディクト16世退位表明
6. アカデミー賞作品賞に「アルゴ」
7. イラン ロウハニ大統領就任
8. Fun. がグラミー賞2冠 最優秀楽曲賞と新人賞受賞
9. アメリカ上院、「オバマケア」修正案を否決
10. 中国の無人月探査機、月面着陸成功

2014年

〈第62代〉

# 新たな仲間が見つかる、 縁を大事にする練習ができる 場所だと思う



第62代理事長

# 森山新樹

## SLOGAN 2014年度スローガン

### つなぐ

- 当時のスローガンに込めた想いを教えてください  
ご縁を大事にしていけないとJCの意味がないんじゃないかというのが始まりです。繋がれる中に自分達がいるのではなく、自分達から能動的に繋いでいこうという思い。自分が“発信者”になって欲しいという思いも込めました。
- どのような組織づくりに注力されましたか？  
理事長も副理事長も交えて横断的に動けるような組織作りを目指しました。だから担当副理事長制を採用しませんでした。例年がない取組でもあったので非常に難しかったですね。良い意味では室長が育ったと思いますが、室長はきつかったと思いますね。
- 任期中で大変だったことを教えてください  
目まぐるしく忙しく過ぎ去って行ったというのが正直な感想。中でも理事長ブログは大変でした。過去、都度発信される理事長の考えを楽しみに過ごしていたので、先輩の背中を真似て自身も是非、と取り組みました。日々アンテナを張ってそこに自分の意見を取り混ぜ、誤解を与えず、前を向けるブ

## 2014年度 主な事業内容

- 4月 講師公開例会「世界とつながる心のトビラ」
- 7月 サマーコンファレンス  
FUKUOKA ナイト  
FUKUOKA JC わんぱく塾～生きる力発見プロジェクト
- 8月 アイデンティティ確立フォーラム～情熱は人生を変える～  
JCI世界会議福岡大会10周年を記念したDVD作成事業
- 10月 食卓のチカラ
- 11月 WE ARE THE WORLD～福岡から始まる新しい国際交流の輪～  
FUKUOKA ファミリーウォーク～家族で歩こう、私たちのまち～  
「FUKUOKA Leadership School 2014」～最高のリーダーになるためには～



ログを発信し続けるのは大変でしたが、いい修練であったと懐かしく思います。

- 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？  
数えきれないくらい人前で挨拶をしないとイケないので、思いを簡潔に伝える力というのは養えたと思います。入会前のプレーヤー感覚が委員長職とかでプレイングマネージャーになり、理事長では思いやビジョンで人を動かすリーダーとしてのトレーニングが積めたと思います。
- MVP委員会を受賞されたのはアジア経済交流委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？  
全部の委員会が次点候補ですね。事業を成功させてイベント屋になりたいわけではないので、成功したかという視点で順位はつけなかったですね。だから逆に、何をもってMVPに決めるかが難しく。委員会の結束や、メンバーが変わるきっかけと結果が見える会が一番だろうという視点で見ると、どこも良かったですから。
- 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ  
「縁」だと思います。人との縁があって仕事生まれるし、そ

の縁を大切にするからステップアップが出来て新たな仲間が見つかる。縁を大事にする練習ができる場所だと思います。

- 現役中に失敗談があれば教えてください  
全カットをお願いします(笑)。  
ただ言えるのは、JCで失敗したとしても自分の本業がダメージを受けるわけではないので、すべて経験だと割り切って、失敗をしてもいいくらいの気持ちで取り組んでいましたね。
- 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
縁を大切に広げていって欲しい。それから事業の成果が何かは大事にして欲しいです。多くの仲間とひとつでも成長する経験から、縁も見識も深まると思う。JCでの多くの経験から、視野や底力が広がった壮年期につなげていって欲しいですね。
- 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
じゃあ俺も!ではなく、負けたくないと思いましたが、ライバルの存在が挑戦意欲を掻き立ててくれると思います。



## 2014年 日本の動き

1. プロ野球日本シリーズ、ソフトバンクが優勝
2. 「笑っていいとも!」31年半放送の歴史に幕
3. 第1回「福岡マラソン」開催
4. 「アナと雪の女王」、主題歌とともに大ヒット
5. 日本一高いビル、あべのハルカス完成
6. 東京都港区で虎ノ門ヒルズ竣工
7. 衆院選で与党圧勝
8. 「和紙」がユネスコ無形文化遺産に登録
9. 国内大手銀行5グループ、最終利益は高水準に
10. オバマ米大統領訪日、安倍首相と会談

## 2014年 世界の動き

1. ソチオリンピック 羽生は金、葛西は銀
2. 米・キューバ、国交正常化へ
3. 赤崎さんから日本人3人にノーベル物理学賞
4. 男子テニスの錦織、全米オープン準優勝
5. 伊 レンツイ氏、EU内で最年少39歳で首相就任
6. オーストラリアでG20開催
7. 欧州宇宙機関の実験用着陸機、史上初の彗星着陸
8. ノーベル平和賞にマララさん、史上最年少
9. アップル、iPhone6、Apple Watchを発表
10. スペイン 新国王フェリペ6世即位

久しぶりに会っても昨日のここのように話ができる。そこが魅力。



第63代理事長

中田 泰平

SLOGAN

2015年度スローガン

BORDERLESS

- 当時のスローガンに込めた想いを教えてください  
 枠を超えた活動をしたという想いが根底にあったと思います。海外に誇れる事業をしたかった。海外に対する福岡のブランディングを軸として活動していくために、このスローガンにしました。
- どのような組織づくりに注力されましたか？  
 みんなが能動的に活動できる組織づくりですね。理事長としてそのために「どうサポートするか」ということに徹しました。それから、当たり前なことを当たり前にしても新しいものはできないので、当たり前じゃなかったものをきちんと整理して当たり前にしていくフォーマットづくりに注力しました。
- 任期中で大変だったことを教えてください  
 結構ありますけど、サッカー関連で画策した事業が大変でしたね。その事業を通して、自分達の強い思いがあって、順調に進んでいたはずのことも、知らないがためにそれまでの努力が無駄になることが世の中にはある、という苦い体験をして非常に勉強になりました。

2015年度 主な事業内容

- 3月 講師公開例会「吉岡徳仁流、ものづくりの考え」
- 5月 講師公開例会「～文化発展都市 FUKUOKA を目指して～」
- 10月 FUKUOKA World Stadium Festival 2015 MINATO SALONE 2015  
 ～GREEN DESIGN PROJECT～  
 ～MINATO ELENA～  
 ～海上パノラマレストラン～  
 ～芸術と海のプロムナード～  
 ～What's a Big bang?～  
 「LIKE! FUKUOKA」プロジェクト～わざわざ来てもらえるまちへ～
- 11月 講師公開例会「新観光立国論～文化こそ経済成長のエンジン～」



- 現役中に失敗談があれば教えてください  
 死ぬほどある(笑)。どこまで言う？  
 派閥間の争いを引っ掻き回してはダメだということは教訓になった。それから、委員会のキャストイングが重要だということも身をもって知ったかな。キャストイングを失敗して事業そのものが立ち消えになったりしたから。
- 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
 JCの役割も時が経つにつれ変わっていると思う。今はJC以外にもいろんなコミュニティーがあるし、でも70年続く伝統を持っているのはJCだけだから、そこも踏まえて自分達の目線でJCが今何をすべきなのか考えて欲しいですね。
- 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
 それって不毛な質問だね。まあでも、経験しちゃってるから、もう1回する必要はないかな。JCにも入らずに違うフィールドで活動したい。
- 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？  
 元々わりと人見知りな所があるので、よそのJCと交流するといったような対外事業が苦手だったんですね。でも会ったら会ったで楽しい話が出来た。面倒くさがってはダメなんだなということを学ばせていただきました。
- MVP委員会を受賞されたのは芸能文化創造委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？  
 次点で悩んだ委員会は特になかったですね。芸能文化創造委員会が突出して良かった。JCの三信条に重きを置いて、多くのメンバーを連れてきて、全ての事柄に対して積極的に取り組んでいました。その姿勢は、メンバーに多くの機会を与えることになるので、その点でやはり評価は高かったですね。
- 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ  
 人ですね。数年ぶりに会っても昔のことを昨日のここのように話せる繋がりが作れるのはJCの魅力です。JCの活動を通して、自分とどういう人が合っているのか、あるいは合ってい

ないのかが分かるので、自分の軸が整う。いい組織だなと思います。

- 現役中に失敗談があれば教えてください  
 死ぬほどある(笑)。どこまで言う？  
 派閥間の争いを引っ掻き回してはダメだということは教訓になった。それから、委員会のキャストイングが重要だということも身をもって知ったかな。キャストイングを失敗して事業そのものが立ち消えになったりしたから。
- 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
 JCの役割も時が経つにつれ変わっていると思う。今はJC以外にもいろんなコミュニティーがあるし、でも70年続く伝統を持っているのはJCだけだから、そこも踏まえて自分達の目線でJCが今何をすべきなのか考えて欲しいですね。
- 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
 それって不毛な質問だね。まあでも、経験しちゃってるから、もう1回する必要はないかな。JCにも入らずに違うフィールドで活動したい。



2015年 日本の動き

1. 日本人科学者2人がノーベル賞
2. 「ピース」又吉、芥川賞受賞
3. 姫路城、平成の大修理完了 一般公開再開
4. 超電導リニア車両、時速603キロを記録
5. 英王室ウィリアム王子、日本初訪問
6. 鳥取空港、愛称が「鳥取砂丘コナン空港」に
7. 東日本大震災で被災した石巻線、全線が再開
8. 「18歳選挙権」改正公選法が成立
9. 「大阪ダブル選挙」維新候補圧勝
10. 卓球石川、全日本選手権で単複3冠達成

2015年 世界の動き

1. ラグビーW杯で日本代表が歴史的勝利
2. 羽生結弦、フィギュアGPファイナル3連覇
3. SDGs が国連総会で採択される
4. アメリカとキューバ、54年振りに国交回復
5. 英王室キャサリン妃、シャーロット王女を出産
6. 国際博覧会、ミラノで109年振りに開催
7. Windows 10 発売開始
8. COP21でパリ協定2015採択
9. 日本の戦艦「武蔵」船体、シブヤン海で発見
10. マリナーズの岩隈、ノーヒットノーラン達成



誰もが必ずどこかが、より光ってくる。  
その“磨き”がJCの醍醐味。



第64代理事長

藤  
眞  
臣

SLOGAN

2016年度スローガン

クロスオーバー

— 当時のスローガンに込めた想いを教えてください  
心一つにして欲しいという願いを込めて「クロスオーバー」にしました。線と線が交わる所を作って欲しいと。人の繋がりにおいて線と線が重なり合っていけば必ず一つになれるポイントがあるのではないかという思いをアレンジしました。昔に比べて、一人ひとりが利他の精神を重んじるところが薄れているように感じていました。相互の理解を深め、認め合いひとつになることでJCの可能性も増します。JCが一つにならないとできないことが絶対にある。それを認識してもらいたかった。

— どのような組織づくりに注力されましたか？  
委員長という役職者に強い存在になってもらうため、理事数を減らしました。  
また、外部団体や国際的ネットワークとの繋がりを強化するように動きました。青年が集う団体というのは、昔はJCしかなかったが、今はJC“も”あるという時代になった。でも、国際的ネットワークを持つ青年団体は他にない。その強みをさらに活かせる団体になるよう注力しました。経営者として外を見て、自分達だけではできない領域に入っていき、JCメンバーにとって最大の価値があるという思いがありました。

2016年度 主な事業内容

- 1月 タイ・バンコクJC Phanphon Laoraphanphon 理事長就任及び懇親会への参加  
新春例会
- 3月 講師公開例会「～グローバル時代に求められるリーダーとは～」
- 7月 こども国際交流事業とびうめiee (international exchange experience)
- 8月 能古島からのプレゼント
- 10月 講師公開例会「未来の子どもたちのために、今、私(大人)たちがなすべきこと」
- 11月 じゃぼにずむ2016  
サウスサイゴンJCとの姉妹締結
- 12月 Grand Design FUKUOKA 提言・発信  
FUKUOKA企業グローバル化プロジェクト  
送るタベ ～感謝の協奏曲～

— 任期中で大変だったことを教えてください  
ほぼないですね。理事長はさせて頂いている立場ですし、メンバー一人ひとりが一生懸命動いてくれて、事業を作り上げていってくれましたので、理事長時代に大変だったことは特にはないですね。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？  
自信が持てるようになったところはあります。得られたものというのは自分の中ではまだ実はぼんやりしています。理事長を経験して変わっていったことは感じますが、明確に絞り込んで伝えるのは難しいですね。人と向き合い方が変わって、街の動きが見えるようになったなと思います。視野が広がったことで、知ろうとする力も強くなった。間接的に色々な影響を受けていると思います。

— MVP委員会を受賞されたのはグローバルネットワーク創造委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？  
どの委員会も頑張ってくれましたが、前例が全くない中で姉妹JCの締結に向かい一致団結し、持ち前の行動力で実現してくれた委員会はMVPにふさわしいということで選ばせていただきました。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ  
「磨く」ということ。社長として、父親として、一人の人間として、磨く場所は人それぞれだと思いますが、育ってきた環境や学歴も関係なく、磨かせてもらえる場所ですね。誰も必ず磨ける所はあるので、どこかがより光ってくる。それがJCの醍醐味だと思います。

— 現役中に失敗談があれば教えてください  
真っ先に思い浮かぶのは、香港シティJCの周年です。理事長のセクレタリー時代に同行したのですが、理事長の名刺を忘れてしまって、5枚くらいしか名刺入れに入っていなかった。



あの時は肝が冷えました。香港で印刷屋さんを何軒も回って、言葉も話せないのに「これを作れないか」って相談してまわりました(笑)。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
過去を引っ張ろうとし過ぎず、自分達で決めたことを自分達の責任の元で完遂できる組織になって欲しい。前例に紐づけられ過ぎるとJCの良さが消えてしまう気がします。いい所だけ受け継いで、自分達の感覚を信じて、決断して、進めていって欲しいですね。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
それは分からない(笑)。  
理事長を目指して入ったわけではないから。委員長は格好いいな、とは思っていました。すごく輝いて見えた。いつか委員長はしたいと思っていたから、もう一度やり直しても委員長は目指すかもしれないですね。



2016年  
日本の動き

1. 元素記号113番は「ニホニウム」に
2. 少年ジャンプ「こち亀」連載40年に幕
3. 天皇陛下、退位の意向示唆
4. オバマ米大統領、広島訪問
5. 「君の名は。」「シン・ゴジラ」大ヒット
6. FFGグループ、十八銀行と経営統合へ
7. iPhone7、iPhone7Plus 発売開始
8. マイナンバー、運用開始
9. 広島カープ、25年振りのリーグ優勝
10. 琴奨菊、初場所で優勝

2016年  
世界の動き

1. リオ五輪、日本過去最多41メダル
2. ノーベル生理学・医学賞で大隅氏受賞
3. ピコ太郎のPPAPが世界134か国で配信
4. イチロー、MLB通算3000安打を達成
5. ポケモン GO 世界各国で社会現象に
6. 蔡英文総統、台湾初の女性総統に就任
7. ボブ・ディランがノーベル文学賞受賞
8. イギリス 国民投票でEU離脱決定
9. ウィンブルドン マリーが英国男子77年振りの優勝
10. 米大統領選でトランプ氏勝利

2017年

〈第65代〉

# 自分のキャパシティを超えることを やり遂げた結果が自分自身の 貴重な経験や財産になる



第65代理事長

# 鈴木大輔

## SLOGAN

2017年度スローガン

### 一途に

— 当時のスローガンに込めた想いを教えてください

2017年は「一途に」というスローガンを掲げました。

JCのメンバーは会社の代表も含め、それぞれの会社で中軸を担っている方が多い。自分の会社では上の立場として活躍されていると思うが、40歳未満というのは社会から見るとまだまだ未熟な存在です。

未熟だからこそ、目先の結果を気にし過ぎたり失敗を恐れるのではなく、まずは自分自身の純粋な心に従って一途に活動に取り組んでもらいたいという願いを込めました。

— どのような組織づくりに注力されましたか？

自主性を育み、メンバーが能動的に活動するような、ボトムアップ型の組織づくりに重きを置いていました。長い人でも10年強ほどの活動の中で身に付けたことを、自分の会社や家庭、社会に少しでも還元して欲しいと思ったからです。

— 任期中で大変だったことを教えてください

60数年間にわたり多くの先輩が繋いできてくれた伝統を守っていくこと、そして、地域団体や行政から信頼と期待を

## 2017年度 主な事業内容

- 1月 新春例会
- 3月 講師公開例会「～士魂商才の実業家から学ぶ人生哲学と地域への愛着心～」
- 6月 #ミライボーサイ2017
- 7月 Training×Training
- 8月 福岡市・NZ オークランド市姉妹都市締結30周年記念 宗像サニックスブルース vs オークランド代表
- 9月 ブルーバードプロジェクト～幸せ探しから始まる志の芽～
- 10月 Art in Hospital2017
- 12月 送るタベ ～花道から



持ってもらえるような組織作りを目指すという、自覚と責任を持ち続けること。この二つが大変でした。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？

当時は役を全うすることで精いっぱい、自分の感情を整理する余裕はなかったですね。卒業してからの数年間で、当時頑張ってくれていた後輩たちがJCの根幹を担ってくれている姿を見ると、少しは福岡JCという組織のお役に立てたのかなと思います。

— MVP委員会を受賞されたのはリレーションシップ委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？

選考当日ギリギリまで悩みました。どの委員会も委員長のリーダーシップの元で、独自の色を出しながら、委員たちが団結して積極的に活動していたので。

中でも最後まで悩んだのは、地域文化創造委員会です。舞鶴公園にビッグサイズのパネルで福岡城を作り、その城をバックに市民が盆踊りをするという壮大な事業を企画し、メンバー

が団結して頑張っている雰囲気は非常に感じられたので、本当に悩みました。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしよう

「土台作りの場である」ことです。関わるメンバー全員で切磋琢磨しながらも互いに思いやりを持って活動する中で、自分自身が成長できる、貴重な場だと思います。そしてその経験を会社や家庭や社会に還元する術を身につけられるのも、大きな魅力ですね。

— 現役中に失敗談があれば教えてください

失敗が多すぎて何を話すか悩みますが(笑)。

今でも強く記憶に残っているのは、研修委員会委員長をしていた2014年に、事業報告書の作成を忘れていたことです。年末の提出期限当日、東京へ出張中だったので、当時の副委員長に謝り倒して事業報告書を作成して提出してもらいました。彼とは今でも何とか円満な関係性を保っています(笑)。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？

生き方や価値観が違う多種多様なメンバーが集い、共に活動していく場です。大人になってからの友人ができる貴重な場でもあります。卒業するまで、完全燃焼していただきたいと思います。

もう二度とやりたくないと思うようなことや、自分のキャパシティを超えることをやり遂げた結果、時間が経てみると、自分自身の貴重な経験や財産になっていることがあります。今まさに苦しい状況にあると思う方は、自分と仲間を信じてチャレンジしていただきたいですね。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？

お腹一杯です(笑)。

ただ、振り返ってみると、理事長時代の経験はとても貴重であり、今の自分の財産とも言えるものになっていると思います。



## 2017年 日本の動き

1. 将棋の藤井四段が29連勝
2. 陸上男子100M 桐生、日本人初の9秒台
3. 上野動物園の「シャンシャン」大人気
4. 将棋の羽生竜王、「永世七冠」達成
5. 日ハム大谷選手、MLBへ
6. 日経平均 26年振りに23,000円上回る
7. 天皇陛下 2019年4月30日に退位される
8. 南谷真鈴、探検家グランドスラム達成
9. 衆院選で自民大勝、民進が分裂
10. スペースワールド、27年の営業に幕

## 2017年 世界の動き

1. カズオ・イシグロ氏、ノーベル文学賞受賞
2. トランプ氏、米大統領に就任
3. 韓国 文在寅大統領就任
4. サッカー 日本代表ロシアW杯出場決定
5. スケート浅田真央、引退表明
6. FIFA、W杯の本大会参加国を48か国にすると表明
7. 日本の南スーダンPKO部隊、最後の40人が帰国
8. 英王室ヘンリー王子、女優メーガン・マークルと婚約
9. インディ500決勝で佐藤琢磨が日本人初の優勝
10. 体操「あん馬」の新しい技に「シライ3」

# 成功したときの感動は すごいものです!



第66代理事長

## 田島敬悟

SLOGAN

2018年度スローガン

前へ

— 当時のスローガンに込めた想いを教えてください  
明大ラグビー部の北島忠治元監督のスローガンを使わせていただきました。人生で色々な壁にぶつかった時にこの言葉を思い出しています。メンバーにも、壁にぶつかった時にはその壁を壊すような強さを持って進んで欲しいという想いを込めました。

— 任期中で大変だったことを教えてください  
任期中が65周年だったので式典開催などあったのですが、全日本じゃがいもクラブの開催が思ったより大変でした。錚々たるメンバーだったのでアテンドするだけでも一苦労でした。当日の天気ですら、理事長の力(運)みたいなプレッシャーもあって本当に大変でした。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？  
古くから受け継がれている伝統や経験といったものを下の世代に自ら引き継いで行けたというのは良かったと思います。もう一つは知事や市長、経済界の社長、日本JC、九州地区、福岡ブロックなど様々な人と出会いJCのこと、福岡の街のことなどを意見交換して福岡JCに求められている事をメンバーに発信出来たことです。

2018年度 主な事業内容

- 3月 講師公開例会「これからの時代を勝ち抜くための挑戦とは」
- 6月 65周年記念式典
- 7月 2018福岡・アジア サマーフェスティバル
- 8月 講師公開例会「～生き抜くチカラ。WHY 科学社会? いま子どもたちへ伝えるべきこと～」
- 9月 匠の伝承 HAKATA 日本JCじゃがいもクラブ第72回全日本選手権大会
- 10月 FUKUOKA BAYTOWN FESTIVAL2018 Young river fes 2018
- 11月 ドリームラグビーフェスティバル2018
- 12月 卒業生を送る夕べ ～最後の1ページ～



— MVP委員会を受賞されたのは子どもサイエンス委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？  
いろんな委員会で悩みました。65周年の式典と事業、全日本じゃがいもクラブの開催もあったので大変だった委員会は沢山ありましたが、最終的にやっぱりゼロから事業を作り出した子供サイエンス委員会だろうということで、決定しましたね。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ「人」ですね。卒業しても密につながっているのはJCのメンバーなんですよ。会社のことも家族のこともお互いに知っている。他の団体にも所属していたりしても、JCで出会ったメンバーほどの繋がりは無いんですよ。

— 現役中に失敗談があれば教えてください  
失敗は沢山あります。ありますけど、記念誌には載せられない話が多いですかね(笑)。直接聞きに来てくれたらお腹いっぱいお話しします(笑)。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
失敗を恐れず、半端なことをせずに、全力でいろんなことにチャレンジしてもらいたいですね。JCだから失敗できるし、失敗しないために一生懸命やることでいろんな人に助けられるし、メンバーと団結できる。その醍醐味を味わえるのもJCだからこそだと思う。成功した時の感動はものすごいものがあるから、ぜひ失敗を恐れず挑戦してほしい。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
いや～それはないかな。理事長は目指してなった人っていうのは本当に限られていると思う。理事長はめぐり合わせもあるから。でも、委員長はもう一度やりたいですね。



2018年 日本の動き

1. 将棋の藤井聡太、15歳で七段昇段
2. 2020年から「体育の日」が「スポーツの日」に
3. 3年振りの月食は「スーパー・ブルー・ブラッド」
4. セブンイレブン、日本国内で2万店舗突破
5. 将棋の羽生、囲碁の井山が国民栄誉賞受賞
6. 東京ミッドタウン日比谷が開業
7. 東京オリンピックマスコット 正式決定
8. ソフトバンク内川が2000本安打達成
9. 改正出入国管理法成立
10. スーパーボランティア、行方不明男児を発見

2018年 世界の動き

1. 日本、平昌五輪で最多メダル 羽生結弦連覇
2. 大阪なおみ、全米オープンで初優勝 日本人初
3. 米朝が史上初の首脳会談
4. ル・マン24時間レース トヨタが初優勝
5. 「万引き家族」カンヌでパルム・ドール
6. ロシアW杯 フランスが2度目の優勝
7. プーチン氏、ロシア大統領に再選
8. 南北首脳会談で「板門店宣言」発表
9. ノーベル文学賞 受賞者発表見送り
10. 映画「ボヘミアン・ラプソディ」公開

# 今の状況に言い訳せず、 行動を起こすパワーを持ってほしい



第67代理事長

## 岩木 勇人

SLOGAN

2019年度スローガン

### きざし

— 当時のスローガンに込めた想いを教えてください

2019年はちょうど、平成から令和へ変わったタイミングでした。福岡青年会議所は20歳からの団体ですが、メインは30代の人が多く、新陳代謝がものすごく早い団体だと思います。だから、新しいリーダーがどんどん出てくる。そういった人材が間断なく芽吹くイメージでロゴも作りました。

スローガンは大変悩みました。「きざす」という字を漢字で書くと「兆す」と「萌す」と2つあるのですが、どちらの意味もあって「きざし」としました。

— どのような組織づくりに注力されましたか？

仕組み面では、旧態依然とした議案作成・上程の仕組みを完全クラウド化、「いつでも・どこでも・誰でも・同時に」議案を閲覧・編集できるようにしたり、活動範囲を制限していた定款を変更し、グローバルな事業実施を可能にしたりしました。また、伝統ある「ところてん事業」の再構築に取り組んだ年でもありました。

組織活性という面では、前年度の諮問会議での答申に基づき「国際アカデミー」の誘致をすると同時に、出向を奨励し、外部団体との関わりを強めLOMを超えた仲間との交流を促進することで、幅広い視野に立った組織と個人の意識改革に

2019年度 主な事業内容

- 4月 いよいよラグビーW杯!ラグビーが文化になるために (YouTube配信)
- 5月 スクラム組もうぜ MORI-MORI スポーツフェスタ～世界記録に挑戦～ G20YEA ネットワークバンケット
- 6月 FUKUOKAリーダーみらい塾(ヤング)JC事業) 66周年オールメンバーの集い～広げよう交流の輪～
- 7月 FUKUOKAピースフルスタジアム都市デザイン2019 ミナギルサイノウ2019(キッズ)JC事業) 2020年国際アカデミー誘致を総会にて決議
- 8月 ナウなヤングにバカうけするリーダーシップ
- 9月 IRがもたらす福岡の未来都市デザイン(九州IRシンポジウムin福岡 開催)
- 11月 もしママ～もしうちのママが明日から社長になったら～ネクストリーダーズサミットin福岡
- 12月 卒業生を送る夕べ～感動から笑顔へ～



も取り組みました。

— 任期中の大変だったことを教えてください

終わってしまえば全て楽しかった思い出です。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？

多くの仲間を支えられ、何とか1年を全うできたことですね。本当に貴重な体験をさせていただきました。やはり1人ではJCはできません。それぞれの役割の中で、時にはぶつかり、時には励まし合い、時には笑い、時には涙し、この夢中になった時間を共有できた仲間は一生の宝物です。またそれぞれが企業の経営者や幹部層である300名近いメンバーの中で、リーダーシップを発揮する経験をさせていただき、私自身にとっても大きな学びと成長を得ることができたと思います。

— MVP委員会を受賞されたのは拡大委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？

次点は無いです。MVPは拡大委員会一択。岩元委員長には『有言実行』というすごさがある。日本人は不言実行を好みがちですが、掲げた目標を明快に打ち出し、数字で結果を出すという力を岩元委員長はもっていたと思います。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ

難しいですね……あえて言うなら「第二の青春」でしょうか。ありふれた言葉かもしれませんが、青春時代って「親が厳しいから……」とか「校則がどうだから……」とか、楽しむ事に理由を求めてなかったと思うんですよ。なんか、親の目を盗んだりしていたと思うんですね。だから現役の皆さんにも、今の状況とかの言い訳をするのではなく、行動を起こすパワーを持ってもらいたいですね。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？

それぞれの楽しみ方でJCを頑張してほしい。過去を背負う必要はないです。高い山を登ろうと思ったとき、荷物は軽いに越したことはないです。背負いこみすぎずに現役の皆さんには未来に向けた活動を頑張ってくださいたいです。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？

できないですね……卒業後に当時のGoogleカレンダーを見てゾッとしました。

それに、もうこの団体の魅力は十分知っているつもりなので、仮入会すらしないですよ(笑)。



2019年 日本の動き

1. 新元号は「令和」 天皇陛下即位
2. イチロー引退、国民栄誉賞は辞退
3. 日本開催のラグビーW杯 熱狂の渦
4. 福岡市でG20 財務相・中央銀行総裁会議 開催
5. ソフトバンク 3年連続日本シリーズ制覇
6. 東京五輪のメインスタジアム、国立競技場完成
7. 東洋ゴム工業、社名を「TOYO TIRE」に変更
8. FFGが十八銀行を完全子会社化
9. 北橋北九州市長、市長選で4選
10. カトリック フランシスコ教皇が初来日

2019年 世界の動き

1. ノーベル化学賞 吉野彰さんに授与
2. 渋野、ゴルフの全英女子オープン制覇
3. 中国の月探査機、月の裏側に着陸 人類初
4. 米大統領、初の北朝鮮入り
5. ボリス・ジョンソン氏が英首相に就任
6. 国連で気候サミット グレタ・トゥンベリさん登壇
7. 「アベンジャーズ/エンドゲーム」全世界興行収入1位
8. 次世代通信システム「5G」関連サービスが登場
9. 中国でテスラ社のEVが生産・初出荷
10. 中華人民共和国、建国70年の記念行事

# やろうと思えば何でもできる団体、 そして成長できる場所



第68代理事長

## 出田正城

SLOGAN

2020年度スローガン

### 希望

- 当時のスローガンに込めた想いを教えてください  
福岡の街の「希望」になれる団体でありたいと思って決めました。  
もともと「根ざす」という言葉が候補にあって、その根ざすことは何なのかと突き詰めて考えた時に、最終的にたどり着いたのが福岡の街の「希望」として「地域に根差したい」という思いでした。そこでスローガンを最終目標である「希望」に決定しました。
- どのような組織づくりに注力されましたか？  
国際アカデミーが開催された年でもあったので、JCの国際的な繋がりとかが、「広がり」を意識しましたね。日本国内だけでなく世界のJCと一緒に活動し、異文化に触れることで意識は変わるという思いで組織作りをしていきました。
- 任期中で大変だったことを教えてください  
コロナ禍における行事の中止、延期、そして縮小開催の決断をしなければならないことが辛かった。中でも悔しかったのはOBと関わりを持つことができるオールメンバーが中止となったことでした。ずっと粘っていたけど開催できなくて、自分の中の汚点と思っています。大変だったけどやって良かった。

2020年度 主な事業内容

- 3月 拡大パンフレット一新
- 6月 Kids JAYCEE 田植塾 ~ Experience Challenge 2020~
- 7月 地域連携イノベーション2020
- 8月 地域連携イノベーション2020
- 9月 エールでつなごう FUKUOKA  
高校3年生「夢・絆チャレンジカップ~夢にときめけ! 明日にきらめけ!~」
- 10月 SDGs 事業~ PRIDE ON FUKUOKA ~  
第33回国際アカデミー IN 福岡
- 11月 日本人のルーツ再発見
- 12月 卒業生を送る夕べ

たと思うのは、市内139の小学校にマスクと消毒液の配布をしたこと。徐々に賛同するメンバーも増え、「嬉しかった」という市内の方の声も届き、行動に移した甲斐があったなど。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？  
大手企業の社長をさせてもらったような貴重な経験ができたかと思います。  
また、文章を書く機会が増えて、その経験が身になったという思いもあります。書く楽しさを知ることができました。人に伝える時に、単純な言葉を使うにしても前後の言葉を変えるだけで印象も変わってくる。そういうことも学びました。理事長の経験ができて本当に良かったと思っています。

— MVP委員会を受賞されたのは研修委員会でしたが、次点で悩まれた委員会はありますか？  
たくさんあります。  
キッズ委員会と子ども環境創造委員会は本当に最後まで迷いましたね。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ  
やろうと思えば何でもできる団体、そして成長できる場所、ですね。  
仕事と家庭とJCの3つのことをこなさなければならない状況で、自分に負けずにうまくバランスを取れば、3つとも成長ができる。

— 現役中に失敗談があれば教えてください  
委員長や常務の時に、萎縮してしまっていたことですね。ダメだろうと思う議案にも手を挙げられなかった。意見をぶつけ合ってこそ本当にいい事業ができるのに、萎縮してしまっていた。  
他の失敗は、見栄を張ってお金を使い過ぎたことと、12月31日に理事長として最後のブログを書こうと思ったら、次の



代表に代わってブログを書きそこったこと(笑)。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
やるべきことのバランスを取りつつ、長という立場を目指して欲しいと思う。  
それから、アフターコロナになった時に、リーダー的団体として世界にも認められるような活動をして欲しいですね。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
難しい質問だね。ただ、歴を長くしたいと思った。日本の委員長などを経たうえで理事長になったら、やはり任期中にできた経験も違ってきたらうなど。生まれ変わっても、もう一回JCに入会したいですね。



2020年 日本の動き

1. 藤井七段が最年少タイトル棋聖位獲得
2. 「劇場版 鬼滅の刃」国内最速で興業収入100億円
3. 菅内閣が発足
4. 「はやぶさ2」地球帰還 直ちに次の探査へ
5. プレイステーション5発売 転売問題も発生
6. 日本の伝統建築工場の技、無形文化遺産登録
7. 「チバニアン」正式決定=地質時代名に
8. トイレトペーパーなどの出荷量、過去最高に
9. 都構想住民投票、反対多数で大阪市は存続
10. 7月の日本、1件も台風が発生せず

2020年 世界の動き

1. 米大統領、バイデン氏確定 接戦を制する
2. 民間初の有人宇宙船、打ち上げ成功
3. 中国の月探査機、月面サンプル採取成功
4. 米中、それぞれ火星探査機を打ち上げる
5. Windows7の延長サポート終了
6. 韓国のBTS、世界で最も売れたアーティストに
7. 「パラサイト 半地下の家族」アカデミー賞受賞
8. 米大手映画館休業、ドライブインシアター好調
9. 米とタリバンが和平合意
10. 仏、使い捨てプラスチック製カップを禁止

終わりがあがるこの団体で、  
それぞれの物差しを超えて  
チャレンジして欲しい



第69代理事長

彌登義明

SLOGAN 2021年度スローガン

HOPE to New ERA

— 当時のスローガンに込めた想いを教えてください  
2021年は「HOPE to New ERA」というスローガンを掲げました。本当は「NEW ERA(新時代)」にしようと考えていたのですが、前年のスローガンであった「希望」を入れることにしました。前年はコロナウイルス感染症が大流行して、非常に大変な年でした。思ったような活動ができないもどかしさがあるように感じ、「希望」というスローガンを引き継いで、「HOPE to New ERA～新時代に希望を～」を胸に活動していきたくったのです。

— どのような組織づくりに注力されましたか？  
「まちづくり」をするのがJCだという方が多いのですが、JCの本分は「ひとづくり」です。人づくりをするための最大の手法が「まちづくり」。つまり社会開発です。「ひとづくり」がきちんとできる組織を作るために、コロナ禍においてもやれること、やらなければならないことをチョイスして組織を作っていました。

2021年度 主な事業内容

- 1月 新春例会
- 3月 講師公開例会「インバウンドがもたらす福岡の未来と可能性」
- 4月 講師公開例会「～コロナ禍という逆境をどう乗り越え、ビジネスをいかに進化させるのか～」
- 6月 講師公開例会「グローバル化時代における文化発信～伝えることで育む郷土愛～」(仮称)糟屋青年会議所設立に伴うスポンサーJC承認を総会にて決議
- 8月 Kids JAYCEE 第3期生事業「ドリームキッズTV～10人の大人に聞いてみた!～」2024年全国大会主管立候補承認を総会にて決議
- 10月 宇宙コンテンツを福岡の地域資源にしよう! FUKUOKA SPACE EXPO2021 FUKUOKA BENCH ART 若者が創造するFUKUOKAのMIRAI予想図
- 11月 FUKUOKA Young Leaders project 2021
- 12月 2021卒業生を送る夕べ～Memory of Smile～



— 任期中で大変だったことを教えてください  
大変だったことは、実はそんなにありません。僕自身が基本的にポジティブに考える性質で、たとえ悪いことが起こっても何かの「きっかけ」だと思えるから。大変だったというより辛かったのが、新メンバーの退会です。コロナ禍で様々な制約があったために活動がなかなかできず、新しいメンバーがJCの魅力やスケールを感じられないまま何人も辞めてしまい、心情的にぎつかったですね。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？  
全てのメンバーに支えてもらい、本当に感謝しかありません。身近な地域の活動にどれだけ力になれるのか、それがJCの本質だと思いますが、卒業しても街のことや、自分に何ができるかをより考えるようになりました。自分が変われば周りも変わる。周りが変われば地域が変わるということを実感できました。

— MVP委員会を受賞されたのはMade in fukuoka発信

委員会でしたが、次点で悩まれた委員会がありますか？  
それはいっぱいありますよ! いっぱい! 言わなきゃいけない(笑)?

「一つを選ぶ」というのが性格的に嫌なので、できることなら、コロナ禍という大変な時代に引っ張ってくれたリーダー達全員にMVPをあげたかった。1つしか与えられないのは、仕方ないことですけどね。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしよう  
やっぱり「ひとづくり」でしょう。  
それぞれ入会した過程や理由は違う。でもその根底に少しでも成長したい、人と繋がりたいという理由があれば、「成長」できる。最後の学び舎という人もいますが、僕は「成長できる場所」だと思います。

— 現役中に失敗談があれば教えてください  
失敗したことしか覚えていませんが、一つ挙げるとすれば、理事としての自分の背中への叩き方で、無理をさせたり、余計なプレッシャーをかけたことがありました。それが大きな反省点ですね。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
泣いても笑っても40歳で終わり。それぞれの物差しを超えてチャレンジして欲しいと思います。そうすれば40歳からの人生が変わってくる。  
もう一つは、時流を感じ、時流を読んで、時代に必要とされる個人や団体になって欲しいです。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
絶対嫌(笑)! そもそも目指すモノじゃないと思いますが…。  
もしも仮入会からやりなおしても、その時代に必要とされなければ、委員長や理事長には選ばれないと思います。自分がその時代に必要とされる人物かどうか、分からないです。



2021年 日本の動き

1. 東京五輪 日本は史上最多のメダル58個獲得
2. 将棋の藤井聡太三冠が史上最年少で四冠達成
3. ヤクルト、21年振りの日本一=プロ野球
4. 愛子さま、20歳の誕生日をお迎えになる
5. ヤマダHD、ベスト電器などを吸収合併
6. 双子のパンダ「シャオシャオ」「レイレイ」に
7. かしいかえん閉園、65年の歴史に幕
8. 「ジャパンネット銀行」が「PayPay銀行」に
9. デジタル庁、発足
10. 台風14号が福岡県上陸 統計開始以来史上初

2021年 世界の動き

1. 延期を経て東京オリンピック・パラリンピック開幕
2. 真鍋さんに栄誉のメダル授与=ノーベル物理学賞
3. 「ドライブ・マイ・カー」カンヌで脚本賞受賞
4. 米などが冬季北京五輪の外交ボイコット表明
5. 米フェイスブック、「メタ」に社名変更
6. バイデン米大統領就任
7. 北朝鮮 金正恩氏、朝鮮労働党総書記に就任
8. イーロン・マスク氏のスペースX、大気圏飛行に成功
9. G7が英国コーンウォールで開催
10. エンジェल्ズの太谷、大リーグ MVP に

# 楽しいことがJCになれば、 どんな苦難も乗り越えられる



第70代理事長

## 西嶋 聖

### SLOGAN 2022年度スローガン

#### 転機

— 当時のスローガンに込めた想いを教えてください  
 コロナからの転換、「転機」となる年にしたいという思いを込めました。当初は、違う候補もありましたが、一番じっくり考えた文字がこの言葉でした。言葉自体には満足しています。

— どのような組織づくりに注力されましたか？  
 コロナを経験し、70周年、全国大会を控えている中で特に、メンバーシップを意識しました。リアルの機会が減ると、メンバーシップが薄れている危機感がありました。これを補う意識で組織編成を考えました。海外JC、メンバーの交流、行政との関わりが今後重要になります。委員会をセバレート化することで、単純に所務を簡素化し、委員長の裁量で事業をサイズアップできるようにしたつもりです。

— 任期中で大変だったことを教えてください  
 理事長として、様々な場所へ出向くことは、理事長にしかできない貴重な経験でした。個人的には、挨拶やスピーチが苦手のままでしたね。福岡JCにとって、直前理事長が在籍する意味とはなにか現役メンバーに、自分の経験を伝えたいと思っています。九州地区など、福岡JC以外に顔つなぎがしやすい環境をつくることができました。全国大会に向けて、現役メン

### 2022年度 主な事業内容

- 1月 新春例会
- 4月 講師公開例会「Diversity inclusion～多様性を受け入れる豊かな心を～」
- 5月 講師公開例会「安倍政権が目指したもの～今後の日本～」
- 8月 Kids JAYCEE 第4期生事業「フレンドシップ・キッズアイランド～自ら未来を切り拓く力～」
- 10月 Young JAYCEE 第四期生事業『ALL@FUKUOKA 大文化祭2022』  
 会員交流事業 ～dice&rally～ CI福岡大双六大会
- 11月 FUKUOKA 創造委員会 博多旧市街ユニークベニュー 国際都市創造委員会 J-5 MEETING
- 12月 未来デザイン創造委員会「こども未来都市宣言」～  
 The child growth is the best work of life～  
 卒業生を送る夕べ  
 70周年記念誌作成

バーへ顔つなぎをすることは自分にしかできない重要な役目だと考えています。

— 理事長の任を受けて良かったと思えたことはありますか？  
 多くの人に覚えてもらえ、様々な人たちから良くしていただきました。メンバー、他LOMと仲良くなれたこともよかったです。理事長になったことで、他LOMの現状を知り、福岡JCを見つめなおす貴重な機会になりました。

— 青年会議所の魅力を一言で言うとなんでしょ？  
 人と人の繋がりを大事にできることです。自分自身が入会することで、自分の変化を大きく実感できました。自分では気づきませんでした、人から言われて気づかされる成長がいくつもありました。委員長に育てられ、委員長になり人を育てることができたことは私の貴重な経験です。

— 現役中に失敗談があれば教えてください  
 あまりありません(笑)。  
 全力でやったせいか、後悔はあまり思いつかないですね。私自身、自分なりに全力で取り組んだから、後輩も全力でやってほしいと思います。どんどん失敗してほしい。でももしかしたら、精一杯やったことに対して失敗と認めないことも大事かもしれない。

— 現役メンバーに伝えたい事はありますか？  
 一番は、楽しくJCをしてほしいと思っています。JCが楽しいのであれば、たとえ大変なことがあっても続けられる。JC内の目標を持ってほしいですね。役、理想の先輩を目指すなど、単純に友達作りでもいいと思います。とにかくJCを楽しんでほしいですね。  
 良くないかもしれませんが、福岡JCはこうあるべき、という意識は個人的にはあまりないです。みんながJCを楽しんで、その思いを繋いでほしいと思っています。楽しさが伝播して、



メンバーも増えてほしいですね。一方で人数の減少で解散に追い込まれるLOMが増えているのも事実としてあって、今後の危機感を感じています。

— 仮入会からやりなおしても理事長をめざされますか？  
 入会して理事長を目指したことはこれまで一度もありませんでした。年々、役を受け、役を全うし、次を目指した結果、理事長になりました。結局は、自分の性格上、与えられたことは自分なりに消化しただけだと思います。



### 2022年 日本の動き

1. プロ野球 オリックス、リーグ連覇、日本一に
2. ロッテの佐々木、28年振りに完全試合
3. フィギュアスケートの羽生 引退を表明、プロ転向
4. 平幕逸ノ城が初優勝 大相撲名古屋場所
5. 沖縄復帰50年
6. プロ野球ヤクルトの村上、史上最年少で三冠王
7. スピードスケートの小平、引退レースで優勝
8. 体操の内村、引退表明
9. 三菱重工浦和、悲願の皇后杯初V
10. 「トップガン・マーベリック」日米同時公開

### 2022年 世界の動き

1. 冬季北京五輪、日本は過去最多18のメダル
2. カタールW杯開催 中東での開催、冬季開催は初
3. ヤンキースのジャッジ62号本塁打 61年振りの記録更新
4. 韓国次期大統領に野党・尹錫悦氏
5. 松山英樹、米マスターズ・トーナメント優勝
6. ジョコビッチ、逆転でウィンブルドン4連覇
7. 「英国の母」エリザベス女王死去
8. 世界柔道 阿部兄妹がV ともに3度目
9. 松山 マスターズゴルフ連覇ならず
10. FRBのバーナンキ前理事長、ノーベル経済学賞受賞



## 川崎 慎吾先輩

株式会社プライム福岡  
代表取締役社長

— 1、2年目からすでにJCスイッチは入っていたのですか？

JCはちゃんとやってましたよ。でもスイッチなんて最後まで入ってなかった。そもそもそんなに「好き」じゃないんです。一般的に好き嫌いの表現があってないのだと思いますが、やりたくない事だからやる意味があるわけで、自分が好きなことはプライベートでやればいい。そもそもやりたくない事、嫌いな事、自分の考えと合わないところに身をおくから勉強になるわけで、自分に居心地のいい場所であれば別にやる必要は無いのだと思う。

— JCの学びが一番大きかったことは何ですか？  
経営者を10年位したのちにJCに入会したわけですが、基本的にお給料が無いのに仕事より大変な部分もあるじゃないですか、JCって。営利関係にない中でいろんな人についてきてもらわなければいけない立場に早いうちになった。どうやってついてきてもらえるか。参加してもらえるか。そういった事が非常に学びになったと思います。人生観が新しく加わったというか。親友も出来たし、人脈も増えました。結果的

かもしれませんが、JCに入って良かったなと思えたことは「人」ですよね。

— コロナ禍を超えて、社会が変わり、JCも出席が問題になりつつあります。アドバイスなどお聞かせください

僕が出来ていたかは別として、やっぱり人が集まる理由は「人」だと思う。事業が楽しいとか、その場が楽しいとかではないのだと思う。この人がいるからとか、この人に頼まれたからとか、そういった理由で自発的に人は動くものだと思う。結局、人は「魅力ある人」に集まってくる。自分が好きな先輩から頼まれたりしたら、やっぱり動くでしょ？それだけだと思う。僕らが現役のころはそういった親分や兄貴分たちが沢山いた。一人一人が魅力ある人間になっていけばJCはまた変わってくると思う。

“ 「こいつとは一生付き合っていけるな」という人を見つけてほしい。 ”

— 卒業後、JCを経験して良かったなと思ったことを教えてください。

友達が沢山いる。珍しいかもしれないけど、断らなければ毎日どこかに出ていく事になるくらい(笑)。でもこれってとてもありがたい事で、例えば、行く場所が無いとか、誘われることが無いとか、電話が鳴らないとか……やっぱり寂しいよね。やる事が沢山あっても大変だけど、ないよりは大変な方が絶対いいよね。

— JCが社業に活かしたことは何ですか？

経営者が集まる団体ってたくさんある。仕事を増やしたい理由で入るならJCじゃなくてもいいと思う。JCが他の団体と違うとすれば「結果的に気が付いたら仕事が増えていた」といった感覚ですね。結果的に後からついてくると思います。僕もほとんどの経済団体に入っていますけど、仕事があればそれは会社と会社の関係で、見積の金額が先。JCの場合は「あいつがやっているから見積出してみよう」とか、人が先なんですよね。順番が逆なんです。長い人生や仕事をやっていくうえでどちらが大切で、永くやっていけるのかと考えると、やっぱりJCで得た「人脈」の方だと思います。こういった面でいろんな団体の中でJCだけは特別ですね。本当にやりたくない事だったし、きつかったし、行きたくなかったし……でも、いろんな団体がある中で、もう一回所属しろと言われたら僕はJCを選びますね。

— 後輩たちにメッセージをお願いします。

事業をやる事は大事だと思うけど、結局のところその事業をやる事によって、どれだけ真の仲間が出来たのか本当の大事なところ。現役中にあるような事をやる過程の中で「こいつとは一生付き合っていけるな」という人を見つけてほしい。JCとはそういう人を見つける場所だと思う。いろんなことをやればいいし、沢山失敗してもいい。その過程で沢山仲間を作ってくれば先輩としてもうれしい。結論としては「沢山出席してほしい」どこで誰と出会うって人生を変えるようなチャンスがあるか分からないわけだから、沢山出席してより多くチャンスを拾ってほしいと思います。



## 大嶋 洋平先輩

株式会社 Willing hands  
代表取締役社長

— 青年会議所に入会した当初の目的などありますか？

え……仕方なく(笑)  
僕の場合は飲食の先輩、一優亭の関さんから「ちょっと今からそっちに人が説明に行くから、JCに入れ」とだけ言われて。今考えれば拡大委員会の人ですね。来てくれた方と話してみるととっても優しくて……「無理に入らなくてもいいよ」と言われたので、その場で断りました。すぐ関さんに「今回は厳しいです」と電話したら「入れて！」と言われて……「分かりました。入ります」という感じです(笑)  
最初の時は会社規模的に、年会費とか、会費以外にもお金がかかることが痛いと思っていました。

— そんなJCのイメージが変わったきっかけは？

「人」ですかね。最初の2年間くらいはメンバーとプライベートで会う事などほとんどなかった。少しずつ仲間と呼べる人が増えてきて、そうなる例や委員会に行っても仲間がいるので楽しくなってきた。「人」が自分の居場所をつくってくれたんだと思います。250～300人の中で「この人が大嶋洋平だ」と認識されてからは、居場所が出来て楽しくなってきました。

— JC活動が社業に還元できたことなどありますか？

会議のやり方が勉強になりました。それまでの会議は、とりあえず集まってそれから話そうという形だった。でもJCでは、それ

ぞれが事前に考えてきたことを持ち寄って、みんなで話さなきゃいけない事を話す。今まで自分たちがやっていた会議は、本当の会議ではなかったと気づきました。それと、本当にいろんな人がいる団体だから、誰かしらに何かしらの相談が出来る。それがすごく魅力だと思います。

— 後任の方にJCをご紹介されたことについて教えてください。

No2を入れました。僕の9歳下で、ちょうど僕と同じ期間の6年4カ月をJCで過ごすことになる。丁度コロナも少し落ち着いてきて人が多くなってきたタイミングだったので迷わず行かせました。僕の想いも少しあります。社長はいずれ譲りたいと思っているので、彼が40歳でJC卒業したときに、経営者の入り口に立てるのか、……中年になるのか(笑)僕は20歳代で将来を考えながら生きてきて、30歳代で経営を学んだり、人とのつながりを強くしたりして、40歳で経営者の入り口に立って、それから会社を良くしていくのがいいなという構想がありました。それから40歳代でバリバリ働いて50歳でバトンを譲る、という考えです。それを考えたとき後任の彼にも直接の繋がりがあった方がいいと思うし、世代も時代も変わっていくからね。

— JCの楽しさを探している後輩に向けて、メッセージをお願いします。

一度メチャクチャ集まる委員会に入った方が楽しくていいね！フォロワーは基本的に委員会を選ばますよね。その時僕が見ていたのはやっぱり「集まる委員会」ですね。だから楽しくJC出来るし、僕は楽しくJC出来ました。集まる事は今の時代少し難しくなってきましたけど、JCに限らずやっぱり集まったら楽しい！JCは「親友が出来る最後のチャンス」の場だと思います。大人になるとなかなか親友と呼べる人は新たにできないと思います。JCの活動は楽しいことはもちろん、苦しいことも皆と一緒に味わえるチャンス。甘い事、苦い事、スパイスも含め一緒に味わえた仲間が親友になると思います。

“ JCは「親友が出来る最後のチャンス」の場だと思います。 ”





## 加藤 邦忠先輩

九州旅客鉄道株式会社  
鉄道事業本部 営業部  
担当部長 兼 営業課長

— 在籍期間中に特に印象に残ったことは？  
いっぱいありますね。なんかバカみたいな話が多いです(笑)あと、喧嘩した話が多いですね。委員長をしていた時、僕と喧嘩するというのではなく、メンバーがもめるとか……そういうのが多かったですね。でもそういったことが後に結束を生んでいました。この歳になると喧嘩する事自体がないからね(笑)

— 理事選挙期間中などかなりハードな日々と思いますが、会社からの理解などいかがでしたでしょうか？

会社からの理解はありました。会社は総論として「JCやってきなさい」と言ってくれますが、結論としてやらないといけない仕事が出来なかったら、やっぱり会社としては評価しないですね。

元々上司がこういこういこうい。といったことはしていなかったと思います。当時のJC状況を上には説明して「わかった」とは言ってもらいましたが、それよりも部下たちの事がすごい気になっていましたね。「こ

の人、仕事しないでJCのことばかりしている」など思われているのだろうな、と気にしていましたね。

— 昔の話を聞くと、今よりお酒の席が多かったと思いますがご家族の理解は？  
嫁の理解は全くなかったですね……酒飲んで帰ってきて翌朝も二日酔いで会社に行くわけですから理解する方が難しいですね(笑)

— 卒業後、社業にJC経験が活かしたことなどありますか？

どこの会社にも、仕事を進めるのは人間です。その人の「人間力」がそのまま仕事になると僕は思っています。JCというところは「人間力」を作る、高めるところだと思います。

“ JCで学んだ “自分の為ではなく誰かのために頑張る” という精神は今でも生きています ”

ます。卒業後も自らの「人間力」を上げるように、また、部下には上げていける様な指導したりして、JCでの経験を役立てています。それと「利他の精神」。自分の為ではなく誰かのために頑張るという事をJCで多く学んだのでその精神は今でも生きています。

— 卒業後JCやってよかったと思う瞬間はありますか？

何をしても自分の周りに常に誰か知り合いがいて……こんなにも自分の知り合いが増えたんだな、と思いましたね。

— もう一度JCに入会する機会があったらどうしますか？

絶対入会しますよ！……10年は長いかな。5年間くらいが丁度いいかな(笑)

— 後輩たち、現役メンバーに一言お願いします。

40歳までという限られた時間なので、やっぱり思いっきり走ってほしいですね。一生懸命40歳まで刺激となる火中に入って、人に時間に、そして事業に揉まれて……人は千差万別なので目指すところは違っても皆がそれぞれ一生懸命やれば良いJCになっていくと思います。

とにかく、一生懸命JCした方がいい！楽しんでください！



## 笠 伸太郎先輩

株式会社緑水園  
代表取締役社長

— 入会のキッカケや動機をお聞かせください  
知り合いがいて、ずっと勧誘を受けていた。31歳くらいの時、半ば無理やり入ったと思います。まわりの人も今と違ってそういう人たちが多かったと思います。

— LOMの中ではどういった歩みでしたか？  
僕みたいなケースってちょっと珍しいかもしれませんが、入会した次の年に若くて歴も残ってるといことで幹事の話がきて広報幹事を受けました。その次の年にいきなりブロックの事務局長の話がきて……『え？』みたいな(笑)

その時ブロックの会長をやられる方が糸島の方で、隣のLOMでもあるし、僕と家も近かったんで、うちのLOMも誰か出すとの事で「笠にはまだ早いのでは？」という周りの声もあったけど、経験を積ませるという事で事務局長をやらせてもらいました。その次の年に理事選に出ると言われまして……でもLOMにいなかったし、その前の役が広報幹

事だったから、みんなの中では「広報幹事の笠」で止まっていた……というわけで見事に転びました。それから副委員長をもう一回やりなさいという事でLOMに戻ってきて、次の年は通って委員長。事務局長をやっていたから特別委員長をしまして。みんな委員長2回やるところ僕の場合、やりたかったけど、もういい、と言われまして(笑)もう一回委員長やりたいです！と言っていたら、当時の理事長が「委員長やらせてやる」と言ってくれて喜んでいたら……日本に行かされました。そういう経緯です(笑)

いい言い方すると御縁ですね。ひょんなことからブロックの事務局長にせよ日本の委員長にせよ。どちらかといえば他の人と違ったジグザグという表現を僕はしますけど、どちらも経験出来て良かったなと思っています。

“ 経営者としてのシミュレーションが出来るステージが、JCにはあると思います。 ”

— 日本の役を終えてLOMに持ち帰る部分や生きたことがありますか？

若い時に出向することはいいと思うけど、やっぱり経験者が行く方がいいと思う。

— 卒業後に社業にいきたくはありますか？  
僕なりの考えだけど、経営者としての経験値を積ませてもらいました。どういう事かという、会社の規模って人それぞれですね。抱える社員数と同じくらいの人数の役ならやれると思う。でもそれよりも少し大きな規模の役を経験することがJCでは出来る。他の団体ではなかなかないです。とはいえ、自分の会社でいきなり人数増やして失敗するわけにもいかないですよね？もちろん自分で積極的にやっていかないと自動的に与えられるものではないですけど。

— 全国大会を控える後輩たちに向けてアドバイスをお願いします。

たまたまですけど、僕は全国大会の担当の理事でした(奈良大会の時)やる側の理事でしたので大変さは分かっているつもりです。今と比べてしまうのはいけないかもしれないけど、当時の全国大会は、戦って勝ち取っていた。奈良大会だって10年越しくらいでようやくといった時代で、それだけ熱量があったという事をまず知っておくべきかもしれないですね。全てはコロナが悪いのだと思うけれど、ここ最近このLOMも余力がなくなってしまったのだと思う。やれるところをお願いするような感じだと思う。東京、福岡と……つまり知らない間に舞い降りてきた全国大会だと思のです。それを考えると僕が知っている全国大会とは異質なものだと思います。僕が関わった奈良JCのような、戦って勝ち取った全国大会はどれだけ後ろ向きな人たちも当日は皆感無量だったと思う。やって良かったと思えたと思う。

今のままでいくとみんなが気持ちで、僕が関わった奈良JCのようになれるのが少し心配です。JCは気持ちが大変で、逆に言うと「気持ちのみ」じゃないですか。だからそういった過去の全国大会をみんなに知ってほしいし、勉強してほしいです。東京のあとは大変だと思うけど、その後の地方開催。福岡JCは僕の時代もそうだけれども一目置かれています。是非ともそこに応えてほしいと思います。頑張ってください！

# 全国大会に向けて



EXECUTIVE  
CHAIRMEN  
SPECIAL  
CROSS TALK

2022年8月18日、真鍋博俊先輩をお招きし、2024年開催予定の全国大会で実行委員長予定者である中原壮一郎副理事長との対談を開催。真鍋先輩が実行委員長を務めた1989年の全国大会を振り返りながら、その苦勞と奮励について伺った。

誰もが輝ける全国大会を。

想いを受け継ぎ、

情熱が生んだ記念事業が、レガシーとなった。



2022年度 福岡青年会議所副理事長

## 中原 壮一郎

NAKAHARA Soichiro

1989年度 全国会員大会  
福岡実行委員長

## 真鍋 博俊

MANABE Hirotohi



“ 全国大会は福岡JCでの組織決定から日本JCでの当選、そして実施まで4年を要した。よかトピアと同年の開催となり、想定をはるかに超える規模の事業となった。 — 真鍋先輩 ”

2024年、福岡で全国大会が開催される。「昔そしてこれから 全国大会 福岡 1989年から学びえる」と題し、当時の貴重な映像を上映しつつ、真鍋先輩の実行委員長としての苦勞、そして成功の秘訣に中原壮一郎副理事長が迫る。

**中原君** 2024年度全国大会の実行委員長予定者の中原壮一郎と申します。本日は真鍋先輩に当時の準備から実施後までのお話を聞きながら、これから準備をしていかなければならないメンバーの糧となるような対談にしていきたいと思っております。真鍋先輩よろしくお願いたします。

**真鍋先輩** よろしくお願いたします。今から話すことは89年ですから、私の記憶も定かではないですが、それでも対談のお話をいただいて昔のビデオを引っ張り出して見たら、色々と蘇ってきました。参考になるかどうか分かりませんが、質問に答えていきたいと思っております。

**中原君** さっそくですが、当時、全国大会を福岡で実施しようと思われたのは何かきっかけがあったのでしょうか。

**真鍋先輩** 1984年に、熊谷さん（熊谷信治氏）が福岡JCの理事長で、私は常任理事をしていましたけれども、福岡地所の榎本一彦先輩が日本JCの会頭にあって、会頭支援ということで全国大会であるとか京都

議であるとか、そういった所へ行って福岡ナイトをやったり、様々な支援で日本JCとの関わりが増えました。その中で、榎本先輩の会頭としての力が消えないうちに日本JC関係でやれることをやったらどうかという話が出たんですね。ただ、いきなり世界大会というわけにもいかんだろうし、まあそうなる全国大会だろうということで、85年、榎本正弘理事長の時に福岡JCとして組織決定をいたしました。

**中原君** 全国大会の準備をしている段階で、例えば行政だったり、福岡の街だったり、そういう所への影響やメリットあるいは逆に受けた影響などはありましたでしょうか？

**真鍋先輩** 89年は福岡市の市政100周年で、よかトピアが開催される年でもあり「海に開かれたアジアの交流拠点都市」というコンセプトが謳われていました。そこで我々も「波立つ日」というテーマを決めました。「波立つ日 はるかな歴史 駆け巡る 高らかに今夢ゴール」と続くんですね。87年に鴻臚館の遺跡が発掘され、アジアとの交流がずっと以前から続いていたのが福岡市の歴史だということで、そういったことも考慮しながら、同時に「はかた」の文字を「はるかな」「駆け巡る」「高らかに」の部分の頭文字として入れました。

全国大会のメインイベントでは、オノ・ヨーコ氏をゲストとして招待し、人類の愛と平和について、そしてジョン・レノンとの思い出について語ってもらった。

**中原君** ゲストにオノ・ヨーコさんを選ばれた理由をお聞かせいただければと思います。また、呼ぶにあたって反対意見や交渉に難航したということはなかったのでしょうか。

**真鍋先輩** ビートルズが解散した当時から、「解散はオノ・ヨーコのせいだ」というようなあまり良いイメージが世間的にはなかったと思うんです。けれども、彼女は平和活動をずっとされていて、また、世界で一番有名な日本人女性だということで依頼することになりました。実は彼女の祖父の生家が柳川にあるんですが、そういうこともゲストに選んだ理由の一つですね。

**中原君** 福岡JCがイベントを任せられたとは思っていますが、やはり日本JCとも連携しなければならなかったと思います。調整など



のやり取りはいかがだったのでしょうか。  
**真鍋先輩** 実行委員会を福岡として作るわけですけども、日本JCにも全国大会特別委員会という担当委員会がありまして、そこのすり合わせがものすごくあるんですね。全国大会成功への強い思いをどちらも持っているということで、互いの希望や理想とのすり合わせが何度もありましたね。

さらに、記念事業としてアジア太平洋子ども会議を実施。35か国から1,110人が参加する大規模なイベントとなった。この事業は現在も継承されている。

**中原君** JCの全国大会での記念事業というには規模が大きすぎるんじゃないかと思うほどのイベントですが、全国大会自体の準備も佳境に入っている時期に1,000人規模の事業をされるのは色々ご苦労があったのではないかと思います。

**真鍋先輩** アジア太平洋子ども会議は全国大会の記念事業として企画したわけではないんです。JC会員の子供さんを国内の田舎にホームステイさせるという事業を前か

らやっていて、その事業が膨らんできた結果なんですね。後によかトピアの記念事業という位置づけになり、だったら海外から呼ぼうよということで、アジア太平洋子ども会議という形になりました。

**中原君** 実行委員は何名で編成したんですか。  
**真鍋先輩** 5つの委員会を事業委員、いわゆる室ということで割り振りました。全部で80人くらいのメンバーが企画段階からこの事業に関わりました。当然、実行当日には全員が関わるといってさしていただきました。企画を担当していた人が、私の次に理事長をした小林専司実行委員長ですね、話がどんどん膨れるんですよ。海外から1,000名呼ぶのも大変なのに、国内からも1,000名呼ぶとかですね、どんどん話膨らみましましたね。

**中原君** 当時は全部で何委員会あったのでしょうか。

**真鍋先輩** 常設の委員会も当然あるんですが、実行委員会組織という形で全部で28の委員会を作りました。当時会員が430名弱いたんですね。各委員会に15名ずつくらい振り分けられるということで。常設委員会も大会当日は応援部隊として参加しました。

**中原君** 2大事業が同時進行している中で、トラブルなどは起きなかったのでしょうか。

**真鍋先輩** トラブルはなかったですね。博多駅の南に事務局として2階建ての古いビルを借りたんですね。1階が子ども会議、2階が全国大会ということで、同じ建物でさせてもらいました。当然お互いが気になるようなこともなく、一生懸命に自分達の役割を果たしていました。

**中原君** メインで動かれていた方というのはどのくらいいらっしゃったのでしょうか。

**真鍋先輩** 9月の例会を100%例会にしたんですね。各委員会の方向性であるとか、やることを全員に知ってもらうために、決起大会みたいにしてですね。100%に近い会員が来たこと記憶しています。実働もそれに近い人数だったと思います。

ここから資料第2弾として、大会当日の様相を収めた映像を上映する。当日の登録人数17,000名という規模での実施であった。

**中原君** 当日の登録が17,000名で、それ以外の受け入れもあり、懇親会も数千名での実施だったそうですね。

**真鍋先輩** 8,000名の懇親会開催ということで、苦労したのは会場ですね。福岡には会場がなかったんですよ。当時は国際会議場もないマリメッセもない。懇親会はどこでしょうか、となった。式典は国際センターに決めていましたが、懇親会をする場所がないんですよ。福岡大学の体育館まで見に行ったりもしました。それから、よかトピアがもう終わってましたから、その後を利用できないかということで色々考えましたけれど、結局は国際センターをどんでん返すと。30日の夜に懇親会が終わったらすぐに撤収をして、式典に模様替えるよう段取りして、これも人数が沢山いたから出来たことですね。

**中原君** 日本JCとのやり取りや関わり方というものがかなり難しかったのではないかと思います。

**真鍋先輩** 今と違ってですね、携帯電話はないパソコンはないインターネットもないわ、あるのは自動車電話くらいでしたね。ですから連絡を取るのもFAXと電話、あとは手紙くらいしかないんですよ。まあ、



当時はそれが当たり前の時代でしたけど。日本JCの来賓であるとか役員の方との折衝は渉外委員会というものがあってその委員会で行っていました。基本的には、大会本部に連絡すれば大体のことは分かるという仕組みにはしていたと思います。

**中原君** 中洲大通りを歩行者天国にするといった仕掛けもしていますが、行政や福岡の街との連携において大変だったことはありますか？

**真鍋先輩** そのあたりは全然記憶がないんですよ。中洲のインフォメーションなんかはですね、テントを張ってそこに電話を引いて、中洲の案内本「中洲ナイトマップ」を作って配布したりもしました。3つのサービス委員会が中洲の飲食店にお願いに回って、料金交渉と写真を撮影して「中洲ナイトマップ」という本にしたんですね。できるだけ均等にお店を紹介して案内をしていたんですけど、後で「うちには来なかった」みたいな苦情も入ったみたいですね。中洲には、大道芸も呼んだんですよ。歩行者天国にして市民も含めて見られるようにして、そういうサービスを沢山しましたね。

**中原君** 当日心配していたことなどはありましたでしょうか。

**真鍋先輩** 一番心配したのは、季節だけに

台風ですよ。幸い四日間とも天候に恵まれて、天の徳というかね。実行委員長まで上がってくるようなトラブルはほとんどなかったように思います。現場で片がつくようなことでだいたい済んでいたんじゃないかな。

**中原君** 全国大会が終わって、メンバーの方々への波及効果がありましたら教えてください。

**真鍋先輩** 映像にもありましたが、涙を流して抱き合うほどの非常に感動的なフィナーレでしたね。充実感と達成感があったと思います。翌年何をやりたいかっていうと、「今年のようなことはもうやれん」ということはみんな感じていたんじゃないかな。

**中原君** それが今でも続くイベントになりました。

**真鍋先輩** 2回目の開催は考えていなかったんです。翌年は、福岡で実施される国体の後の身障者スポーツを、JCが担当することが決まっていたんですよ。それもあって、あまり大きな事業はできないだろうと。ましてや子ども会議には2億以上のお金がかかっていましたから。ところが、実行委員長を務めた小林専ちゃんがですね、福岡市と県から同じだけ予算をつけるからやっ

てきまして。正副予定者会議で話し合うことになり、生半可なことではできませんから、自主的にやりたいというメンバーがいればやろうということになりました。しばらくの沈黙の後に、専ちゃんの隣に座っていた加地くんが手を挙げまして、僕がやりますと。委員を集めるのに非常に苦労していましたが、今も続くイベントになり、全国大会のレガシーだと思っています。

**中原君** 子ども会議を含め、全国大会をやり遂げたからこそ行政からの信頼も得られたのだと思います。2024年の大会でも、全国の会員の方々に最高のおもてなしをして、成功に収めたいと改めて思いました。本日は貴重なお話をありがとうございました。

**真鍋先輩** 89年の大会では、当時大人気だったシンガーソングライターにJC全国大会テーマソングとして曲を作ってもらいました。非常にいい曲です。再来年、全国大会をやる時にはまたそんなものもできたらなと思いますし、全国のLOMメンバーから福岡で良かったと思ってもらえるような大成功を収めたいと思います。今日はありがとうございました。

“ 最高のおもてなしをして福岡大会を成功に終わらせたいと改めて強く思った。他人事ではなく自分事としてメンバー全員が関わり、一人一人が活躍できる場にしたい。 ———— 中原君 ”



## 掘り出せ! JCI福岡の名場面

2012年から2021年に卒業した先輩方と現役メンバーへ、印象に残っている事業や委員会のアンケートを実施。対内向け・対外向けそれぞれのカテゴリで上位に挙げた歴代委員長へインタビューをおこないました!



## 2017年 地域文化創造委員会 を振り返る

委員長  
安永 拓一郎 先輩

### 福岡城夏祭り、たどり着くまでのエピソード

実はそんなに時間はかかっていません、僕がやりたかったからやりました。見た事無いものは見たいし、そっちの方がインパクトあるし、あと福岡市がやろうとして出来なかった事をJCIがやる事に意味があると考えていたからです。

### 大変だったことはありますか?

全部(笑)前例のない事をやる為には安全性から全てエビデンスが必要で竹田くんが(竹田亮介: (株)清水建設)すべて用意してくれました。お金の面は全て協賛を集めました。全部で1,200万くらい...大きかったのは都築学園

今までのJCのように先輩たちから多く協賛をもらう事は絶対にしなくなかったの、福岡の大企業にリサーチして一件一件電話でアポイントを取り、みんなで回りました。全部で3~40社の協賛を集めました。丁度メンバーにサエキジャパンの佐伯氏がいて、どうい手法で協賛を集めるのかも教わった。熱意とストレートに伝えることが大事で、事業が終わった後も協賛を頂いた企業様にはちゃんと報告までしました。

### 協賛メリットの打ち出し方はありましたか?

提灯、新聞広告、会場でのボードなどいろいろやりましたが、大きな額は特別協賛枠を設ける等ありましたが、他にメリットはほとんどない状態でした。だから「人を呼ぶ」という事で協賛メリットを作りました。では人を呼ぶためにはどうしたらよいか?

福岡城を見る為だけにそんなに人は集まらない。と考え、城以外での集客を考えありとあらゆる手法を駆使し、全メンバーフルマックスで動きましたね(笑)結果12,000人を集めることができました。

### メンバーの衝突などありましたか?

少なからずありましたけど、本番当日は結構ありましたね。もう体力の限界で、写真みたら分かるけど、みんなゾンビみたいになっていた(笑)その他小さな衝突はなにかしらあったと思いますが、逆に衝突が無ければいいものはできませんよね。

### 事業後の反応はいかがでしたか?

HPとSNS管理をしていたのですが、DMが来たり、来年はいつありますか?などの質問などがツイッター等で来ましたね。コメントはほぼほぼポジティブでした。

### 後輩たちにメッセージを頂けないでしょうか

不可能に挑戦してほしい事と、インパクトのあることをやってほしいです。なぜそれなのかという説明はしません。やった人しかわからないからです(笑)福岡JCは不可能なことが出来る団体です。「福岡JCだったからできた」と後輩たちには言ってほしいし、だからこそ挑戦してほしいですね!



## 2018年 こどもサイエンス委員会 を振り返る

委員長  
高木 正太郎 先輩

### イベントの経緯

(委員長)こどもサイエンス委員会はもう一本約りで取りに行きました。理由は、僕と大谷副委員長って理学部とか理工学部なんですけれども、そういう理系の中でよく普通の文系の一般職という営業の仕事をしていて、就職に関してジレンマがありました。

それはなぜかというと、大学行くまでの間に理系の職の夢を持っているわけじゃなかったからです。ただ、点数が取れたり好きだったから、そのギャップを直すためにこどもサイエンス委員会につけていただいたので、子供たちに理系職の夢を見せたいなと思って、あの事業をやりました。

今から、オートメーションの時代が終わって、よく右向け右の工場の仕事ってほぼなくなりクリエイティブな話になるので、今からは理系の生きる力が必要だと思います。テーマは一応生き抜く力なんですけど、昔で言うところの、考察、実施、研修、考察を学んでほしいと思いました。

科学的なイベントをしたいと思って、最初はエルガーラの会場をとってきたけど小さいと思ったので、次に幹事が国際センターにしたのですが、会場が大きくなって協賛金が900万、事業費が総額1,000万位になりました。

この規模になると議案に落とし込むのが大変でした。福岡のいろいろな方にも話を聞きに行きましたし、京都の科学館にも行きました。

協賛金に関しては、基本的には各自のつながりを使ってお願いしに行きました。協賛メリットは、「教育」「子供達」というキーワードで攻めた。何人来るとこんなメリットがでるとようなアプローチはせず、熱意を伝えて行きました。

事業の中でも、色々こだわったところがあります。実は大学ではゼミの発表の場は学校内に限られるので、外に広げられる機会を与えてあげたいと思いました。なので事業ブース内に、30近くの学生の発表を行い子どもたちや一般市民の方達にみてもらいました。

### 学び

(委員長)学びとしては、一緒に一年間戦い抜いたという思いがあります。  
(委員会メンバー)リーダーの意思がとにかく強かったです。この程度でいいじゃん

という想いをリーダーの熱意でかえられました。夜中に議案を送っても返事をくれたので、僕らもとにかくやるしかなかった。

(委員長)過去に福岡JCでは中洲JAZZなどの一部の継続事業はありましたが、しばらくなかったの、この事業は継続事業にしようと思い、今も続けています。コロナ禍で一時的に止まっていたけど、3年前に2回目をやって来年の2月にも科学館といっしょにやります。

ちなみに事業費は前回は500万円くらいですが協賛金のみでまかっています。もちろん、もし足りなかった場合は、自分で払うという覚悟を持ってやっていますよ。笑

### 事業をするときについて

事業に関してはとにかく背景が大切だと思います。大きい小さいは関係なくて今何が問題なのかと言うことを深掘りして如何に共感してもらえるかを考える必要があります。そして、できれば興味がある事業をやる委員会に行っていきたいです。事業準備は、基本的には年内に調査研究を終わらせておくことが大切です。なんだかん良い事業をしようと思ったら普通に準備は1年くらいかかります。良い事業をしようと思うんだら調査研究の後に年内に素案は作ってください。

### JCIが対外的に事業する意義

私は、JCはボランティアだからかっこいいと思っています。ボランティアってハードル高いと思ってたけど、JCは実費でそれをするからさらに大変だと思います。でもその機会を入会して持つことができたのでよかったです。JCを通じて考えるきっかけを得られることが大切で。社会問題を解決することがビジネス。

### 後輩へのアドバイス

限られた時間でしかできないので、瞬間瞬間でJCを大切にしてほしい。戻りたいと思っても時間は戻らないし、断るのは簡単だけど行かないとわからないし、時間を使ってもらった分、委員長も頑張らないといけないし。そうすると自然に盛り上がると思います。

卒業したらできないので、かけがえのない時間を大切にしてほしいと思います。





## 2021年 会員育成委員会 を振り返る

委員長  
山崎 大士 先輩

### 福岡青年会議所に入った経緯を教えてください

先に入会していた先輩から、「いい人脈作りになるよ。仕事にもプライベートにもいい繋がりになるよ」と言われて、1年待って、その間会社の体制を少し整えて、入会しました。

### 委員長を目指されたきっかけはありましたか

一緒に活動している仲間が頑張っている姿や、後輩等に何かを残せればという思いでした。

### 特に影響を受けた方やエピソードはありますか？

僕のJCIに最高の影響を与えてくれたのは「森 伸明」さんです。2年目の〈森〉研修委員会での運営幹事の時に日々の努力は日の目に当たらないように思えるけど、地道な努力こそ、人は見捨てないから。(はっきりに覚えてないのですが、こんな感じのことを言われたような気がします)そして、この年の年末にMVPをいただきました(自慢話ではないです)。

### 当時の委員会での一番の思い出を教えてください

仮入会者に向けて、必死にJCIを伝えようとする委員会メンバーの姿です。

### 委員会メンバーの姿や仮入会のメンバーから影響を受けたことなどありましたか？

仲間のためにと行動する姿を目の前で見ている、後輩たちのためにさらにやるべきことを見つけなければと日々思っていました。

### 委員長時代に意識していたことがあれば教えてください

仮入会者への指導を通して、メンバーの成長の機会をどのようにつくるかを意識していました。同じ機会を与えるのではなく、各々に必要な形で機会を与えることが一番難しいことではありましたが…

山崎先輩は1年目の委員長が卒業年度となりましたが、もう一度委員長をやりたいという思いはありましたか？またそうであったなら担当してみたい所務などありましたか？

私の場合は、研修をする委員会の委員長ということもあり、2年目の委員長だったから、もっと違う研修委員会(会員育成委員会)を作れたのかなと思います。担当してみたいのは、子どもたちを絡めた事業をしてみたいです。

### 具体的にもう一度(もう一年)会員育成委員会を受け持ったら『ここはこうやってみたい』といったことはありますか？

「とことん事業」のあり方自体を、委員会として、方針を固めたかっと思ってます。背景・目的は、委員会側が方針として定める。その意味や理由を学んだ上で、中身を新入会が考える。となれば、委員会メンバーにとっても、新入会にとっても、いい学びと経験になると思ってます。

研修をする委員会において大切なものは、仮入会・新入会を通して、メンバーの成長を一番に求められると思ってます。(これは、全ての委員会に与えられている所務ですけどね)

### JCIに入って最も成長もしくは変化したことはなんですか？

2年目と5年目に研修委員会に配属となりましたが、その時、新入会・仮入会に研修する中で、人の成長を通じて、私自身が一番成長させられていたように思います。

### 現役メンバーへメッセージをお願いします

それぞれ、立場や年齢、環境が違うとは思いますが、日々の活動の中で、ほんのちょっとした背伸びをするチャレンジを忘れずに活動して欲しいなと思います。「やってみてから言え！」なんてことを言われることもあると思いますが、無理と決めつけず、今の自分に何ができるのかを考え、行動し、それを仲間と共有し合えば、より意味のある時間になると思います。40歳までという限られた時間の中ではありますが、胸を張って一歩一歩進んでいただければと思います。



## 2019年 総務財政委員会 / 2020年 研修委員会 を振り返る

委員長  
水崎 浩二

### 福岡青年会議所に入った経緯を教えてください

20代の頃、よく遊んでいた課元先輩(2016年卒業)と一緒に参加した名刺交換会が拡大パーティーでした。当時の拡大パーティーは、その日のうちに入会書類を書かされるくらい強引でしたね。面倒臭いと思いつつも参加したオリエンテーションで、1分間スピーチをしないといけない中、自分はモジモジして30秒くらいしか話せなかったのに対して、のちのち同期になる他の仮入会者が魅力的なスピーチをしているのを見て、斜に構えていた自分が恥ずかしくなったのと、この人たちと一緒に居れば自分にもその力が身に着くのかなと思いついて入会しようと思いました。

### 当時委員会での思い出を教えてください

2019年度の総務財政委員会は、とにかく明るい個性的なメンバーに囲まれてLOMで目立っていたのを覚えています。うるさいからと、LOMナイトはいつも後ろの隅に席が用意されていました、実際にうるさかったと思います。所務に関しては、岩木理事長からのミッションで「アジェンダ・議案のクラウド化」「定款の変更」「議案フォーマットの刷新」に取り組み、委員会としても独自に「単月褒章」や「SDGs」などにチャレンジしました。和田副委員長(2020年卒業)はじめ委員会メンバーのおかげでやりたいことは全部できましたし、今現在も活用されている仕組みを生み出したことは委員会の誇りですね。僕自身は、この年に二度目の理事選挙に出馬させてもらっていて、毎日委員会メンバーと泣いたり笑ったりしていたのを思い出します。「とにかく楽しい選挙」を委員会メンバーがつくってくれた。2020年度の研修委員会は、実質一位による伝説のMVP委員会ですね。実は、メンバー全員が集まってくれた初顔合わせで、僕と新谷副委員長(2021年卒業)が大喧嘩したところから一年がスタートしたんです。先に帰った僕の代わりに、みんなで副委員長を囲んで色んな話をしてきたみたいです。今振り返ると、そのとき研修委員会の一年が決まったような気がするので、メンバーには本当に感謝しています。所務のオリエンでは、「無人島サバイバル」だとか、「24時間耐久」「絵本作り」だとか、コロナになったときは「スマイルマスク運動」をやってみたり、「やす

らぎ荘」を招聘事業から支援事業に変えてみたりとか、変化させることを楽しんで委員会でした。とにかく現地調査が好きな委員会で、「現調のための現調」とか言ってメンバーを巻き込んでくれていました。一つひとつのミッションごとにリーダーが違って、メンバー一人ひとりが主役になる瞬間やドラマがありました。

### 委員長時代に意識していたことがあれば教えてください

「些細なことを大きめにやって、大きなことはスマートにやること。」何ですかそれって言われることが多いんですけど、2年間を通して委員会方針に書きましてし、常に意識してましたね。あと、JCIには「望む機会」と「望まない機会」があるけど、両方をバランス良くやってほしいとメンバーには話していました。個人的には、「委員長を見れば委員会メンバーの顔が思い浮かぶ委員長」というテーマでやっていたので、常に委員会メンバーと行動を共にするようにしていました。

### JCIに入って成長もしくは変化したことはありますか？

皆さん同じことを言うと思いますが、「一生大切にしたい仲間」ができたこと。

### これからJCIを頑張る後輩に一言お願いします

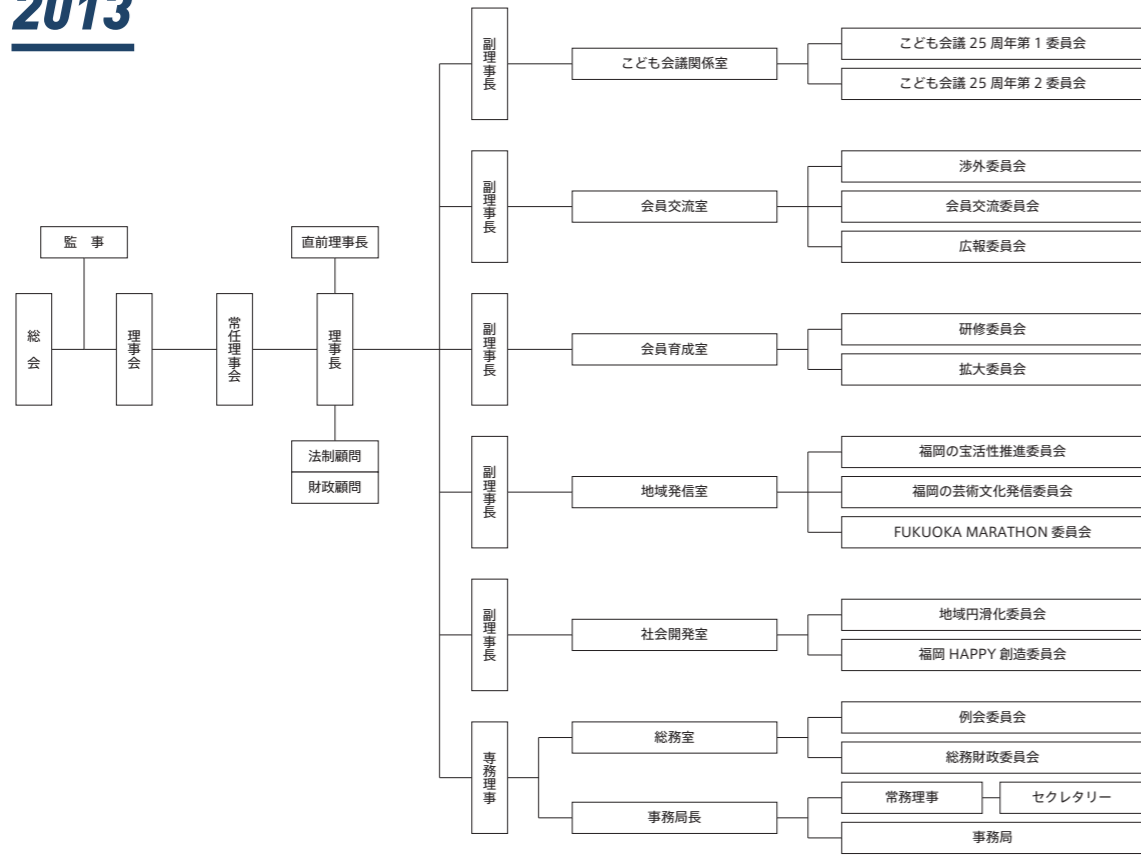
JCIのプロフェッショナルになる必要はないと思います。社長なら新しい会社を立ち上げたと思って、サラリーマンなら新しい支店を任せられたと思ってJCIに取り組んでほしい。身近な人のために汗をかいて、身近な人から信頼されていればそれでいいと思います。20代でJCIに飛び込んだ苦楽は理解できるので、何気ないことでも聞きに来てください。

### 水崎委員長の今後のJCIの目標

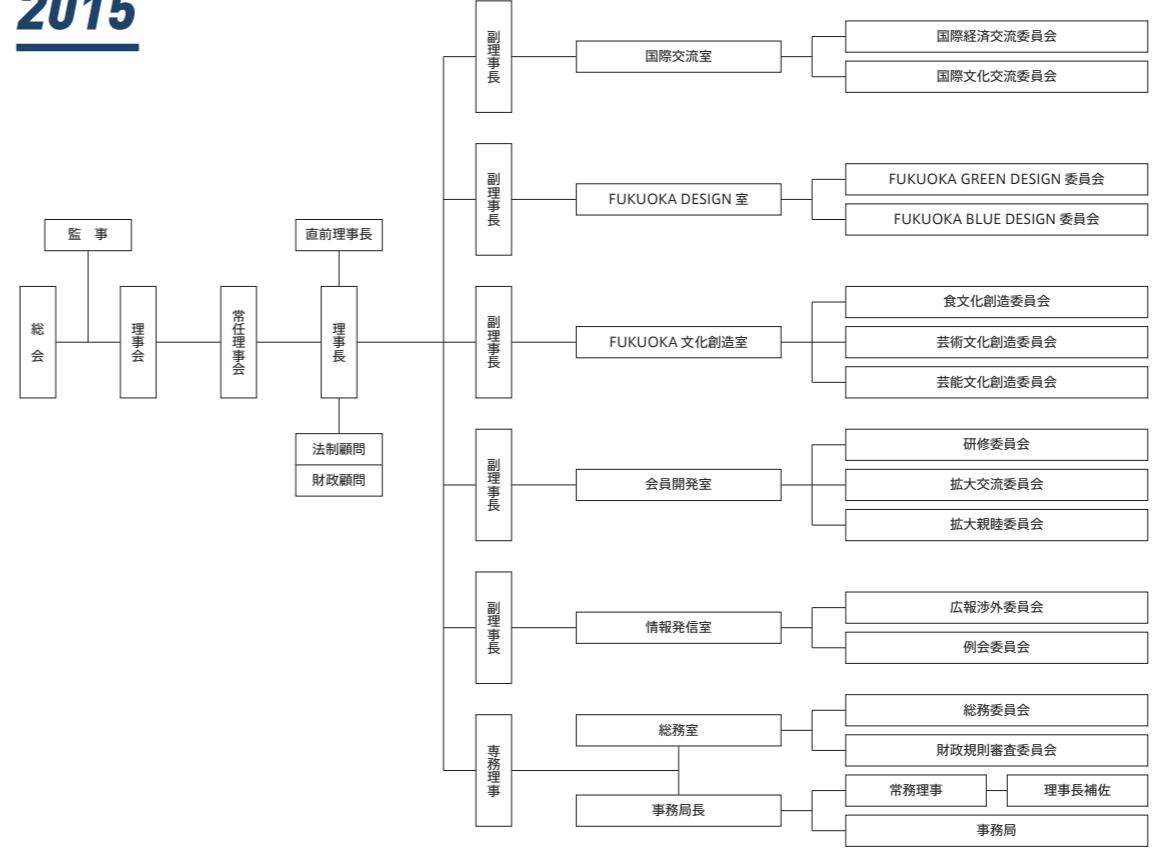
JCIでの目標なんてありません。早く卒業させてください。唯一楽しみなのは、後輩たちが活躍する姿を見ることです。それを支援していきたいです。



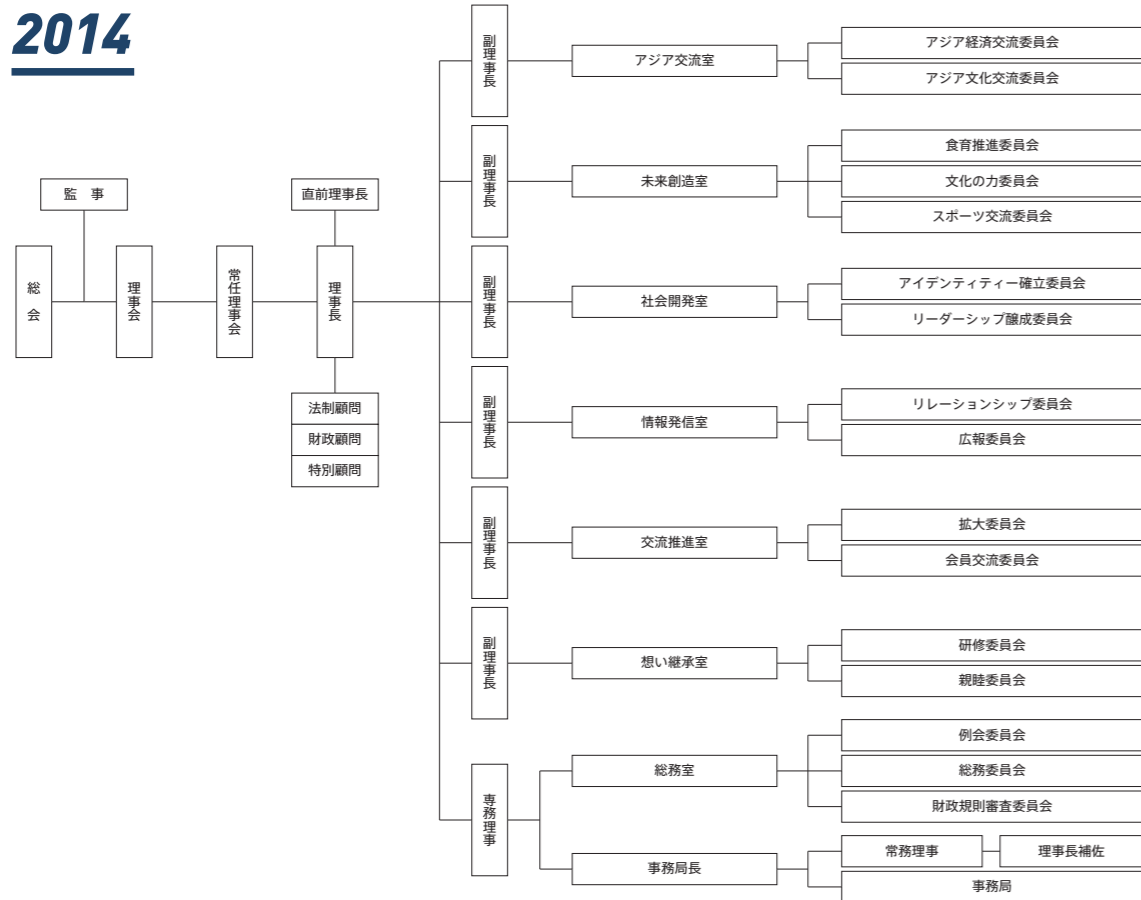
2013



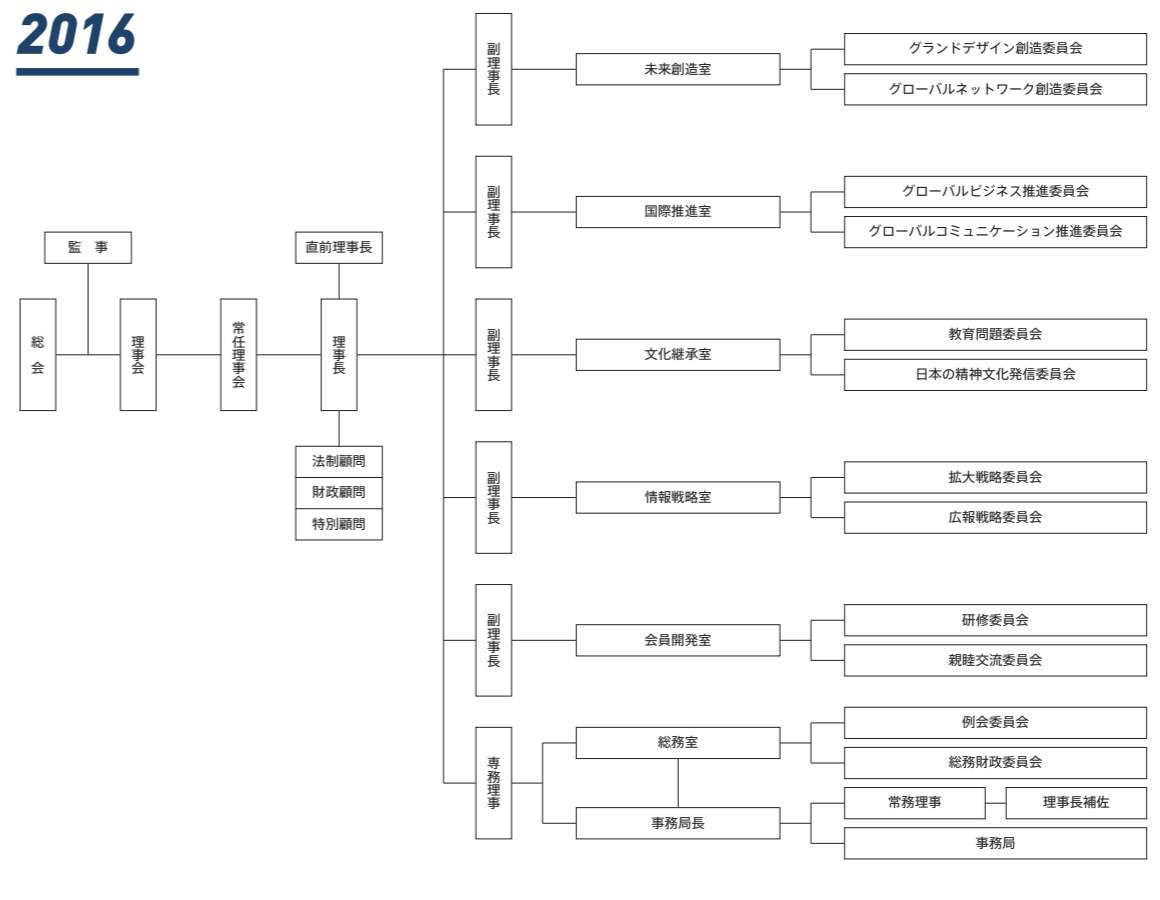
2015



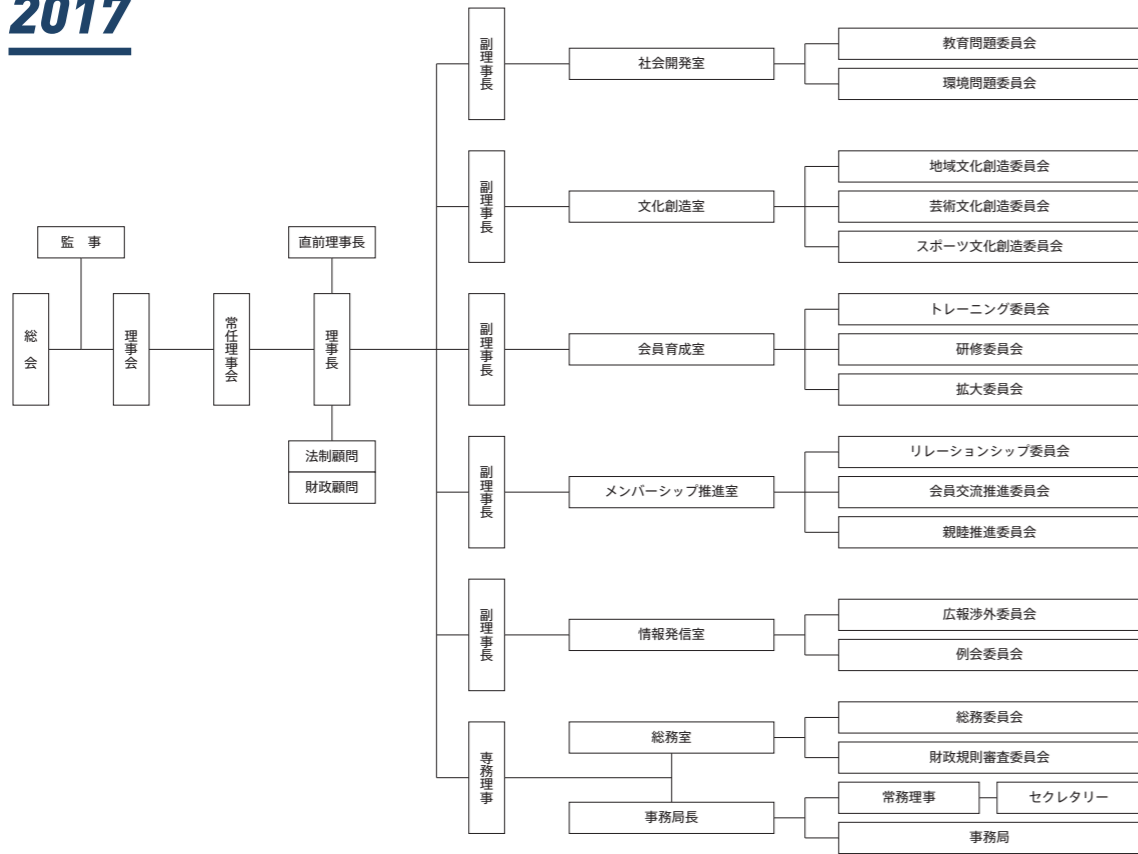
2014



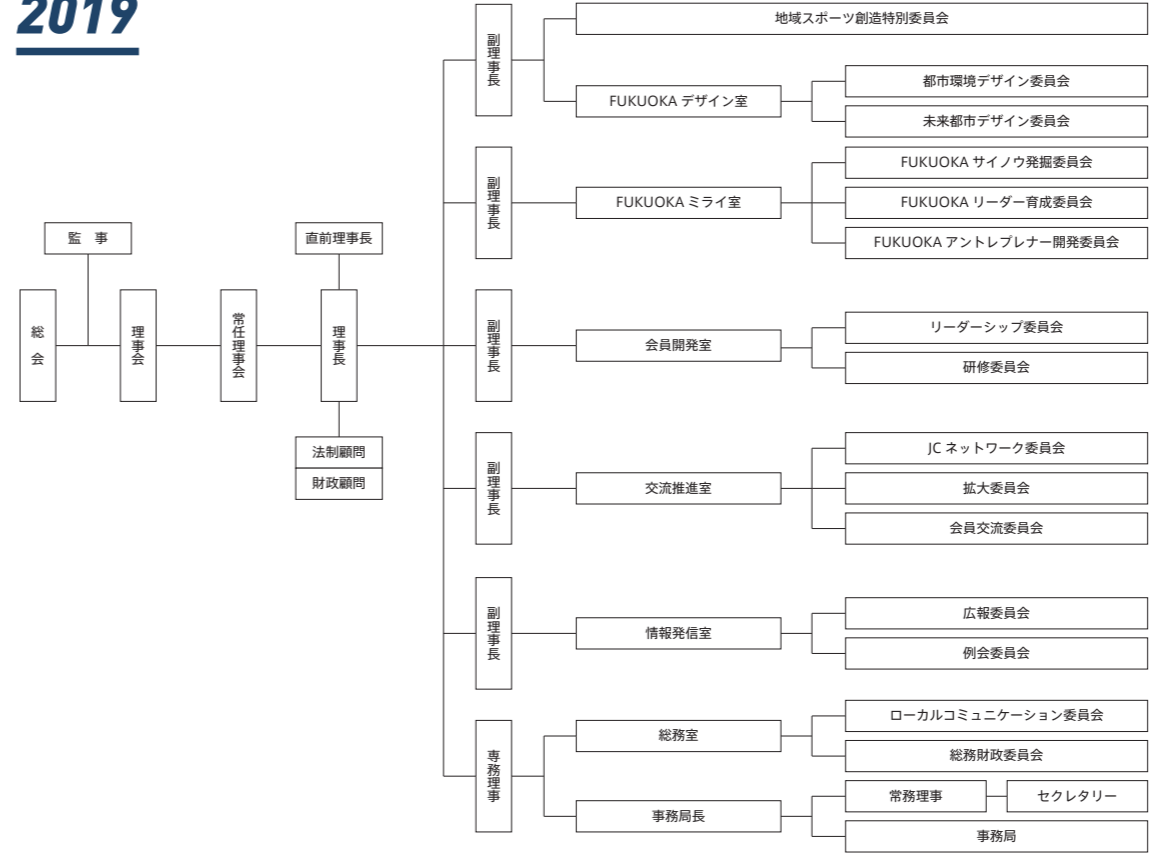
2016



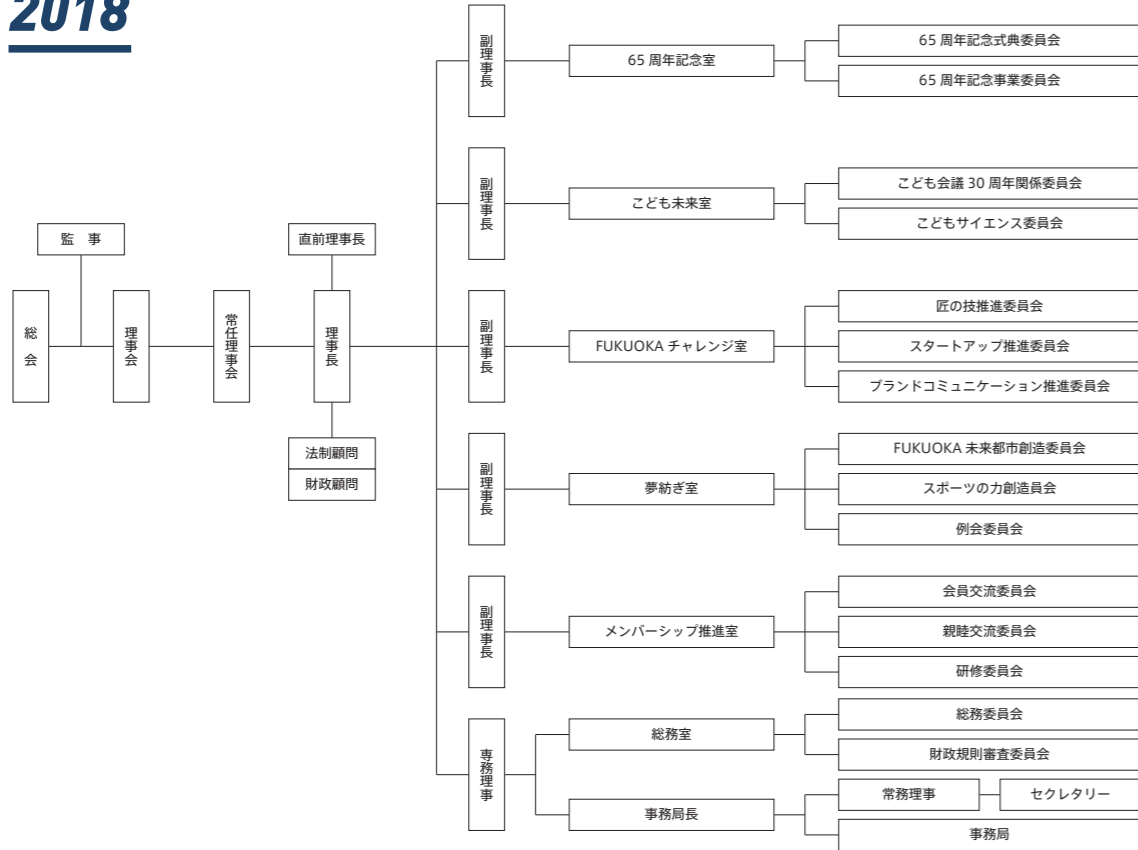
2017



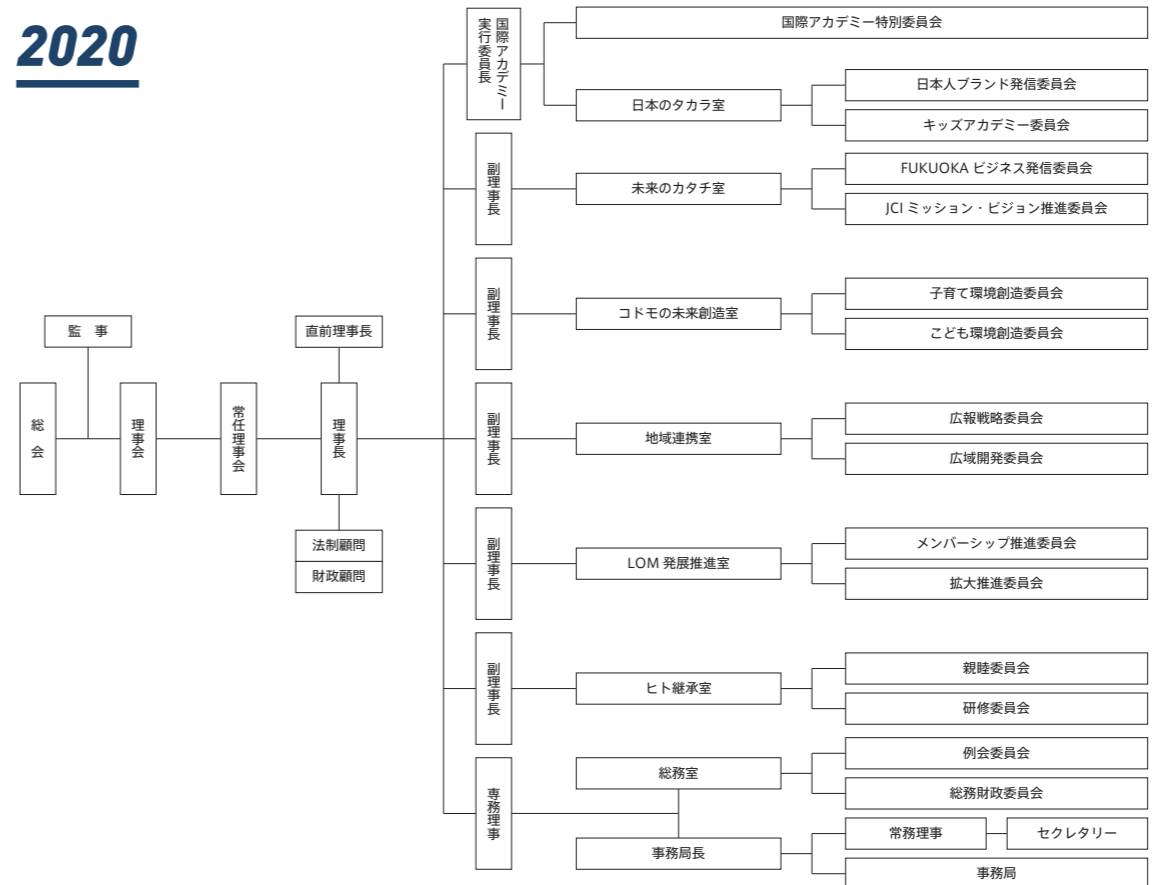
2019



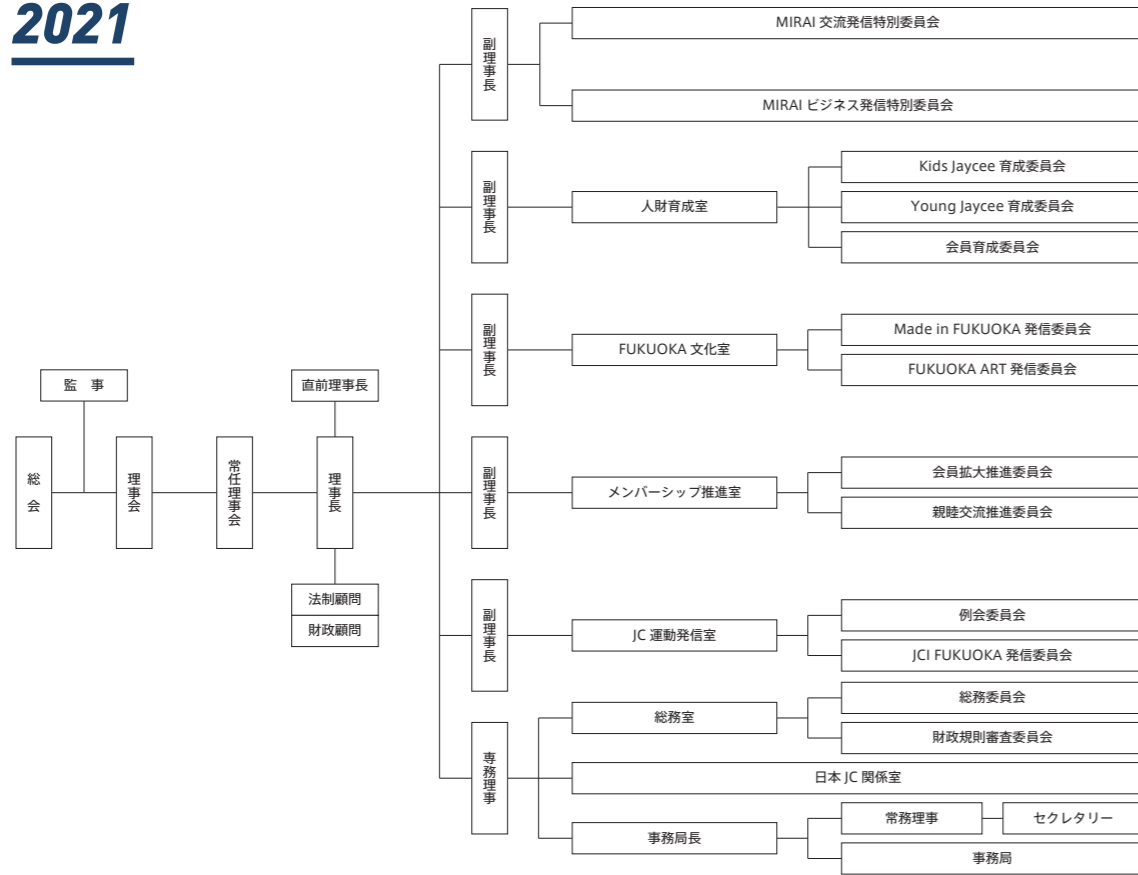
2018



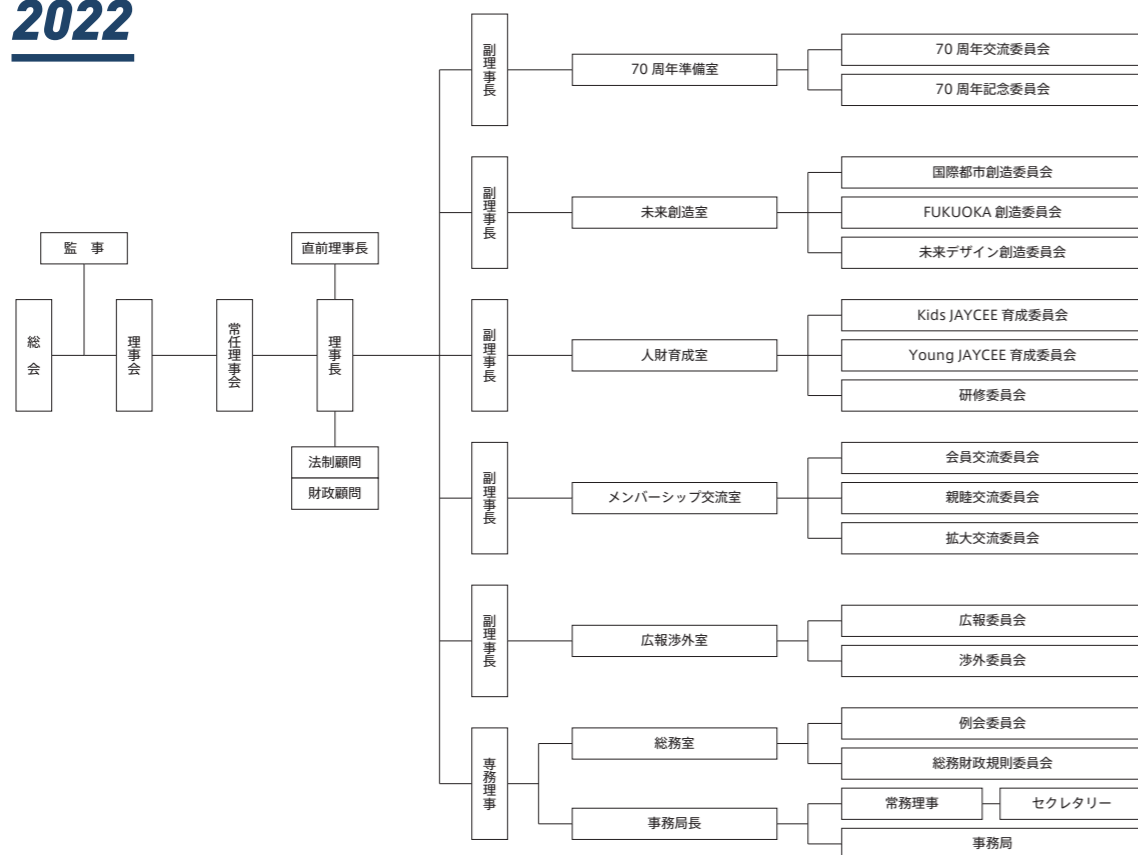
2020



2021



2022



編集後記

一般社団法人福岡青年会議所は創立70周年の節目を迎え、ここに記念誌を発刊できますことを心よりうれしく思うところであります。

この記念誌を作成するにあたり、多くの先輩方に関わらせていただくことができました。ここに載せられているものはこの70年の歴史を知る上でのほんの一部分なのかもしれませんが。この記念誌をきっかけに現役の皆様が福岡青年会議所のこれまでの歩みに興味を持ってもらう一助になってもらえると幸いです。私たちの活動が各種団体の皆様、諸先輩方に見守られ、支えられているということ。それを知り、私たちはこれを未来へと繋いでいかなくてはなりません。

これから80周年、そして100周年へと続く持続可能な団体として、我々の住み暮らす福岡のために、福岡青年会議所の活動が邁進するきっかけとなることをご祈念致します。

最後となりますが、今回の記念誌を発刊するまで、諸先輩方をはじめたくさんの方々に多くのご助力をいただきましたことを心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

70周年記念委員会  
委員長 田原 義也

70周年記念委員会メンバー

70周年実行委員長

橋本 久志

70周年記念委員会

委員長 田原 義也

副委員長 山本 憲司

総括幹事 村津 万里

運営幹事 保利 一晶

会計幹事 吉松 茂隆

広報幹事 佐伯 瞳

青山 零

安河内 治伸

下川 浩平

川島 裕司

田中 海人

間嶋 弘幸

佐藤 大輔

杉島 真帆

入江 賢

一般社団法人福岡青年会議所  
70周年記念誌

2022年●月●日 発行

[発行]  
一般社団法人福岡青年会議所  
〒812-0021  
福岡市博多区築港本町13-6  
ベイサイドプレイス博多C棟3F  
TEL: 092-263-6333 FAX: 092-263-6334

[デザイン・印刷・製本]  
株式会社 ミドリ印刷  
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南6-17-12

©2022xxxxxxxxxxxxxxxx